



六稜舎報

CONTENTS

- 2 会長挨拶
- 3 名誉会長挨拶
- 4 会計報告
- 6 東京六稜会第55回総会ご報告
- 8 東西講演会
・六稜トークリレー
・東京六稜倶楽部
- 9 第100回六稜トークリレー
- 10 FR委員会 行列の出来る就活
相談所 & 若手交流会案内

- Party Reports
- 21 同期会報告 (55、60、63、
64、65、70、71、75期)
- 26 同期会予告 (66、70、74期)
母校の窓 国際交流
- 27 母校の窓 クラブだより
- 28 平成24年大学合格者・
就職者数一覧
教職員異動
- 29 新年度役員一覧
140周年記念名簿
- 30 事務局だより 理事会報告
年会費納入のお願い
オレオレ詐欺の注意
- 31 お悔やみ
- 32 六稜文庫・運営規定
139周年総会開催のご案内

- トピックス1
- 11 観梅会
- 12 北野中学記念碑の会
ラグビー部
- 13 六稜合気会・阿部先生墨蹟碑
- 14 山本次郎お別れ会
- 15 三橋先生の最終講義
期別対抗ゴルフ結果、案内

- 16 特集「六稜天文台」

- トピックス2
- 20 岡山六稜会
124期新人幹事歓迎会



【金環日食】(5月21日)
多くの生徒が授業開始前に校舎屋上に。
※2年地学専攻生と地学研究部員たちは
世紀の天文ショーの撮影に専念した。

59
2012.9.1

【特集】
知っていそうで知らない
六稜天文台

十三の文化の香り

六稜同窓会 会長 山本雅弘 (71期)



同窓会館に来館される方は、会館のガラスの壁面に向って10数人の若者が踊っている場に出会ったことはありませんか？

彼等（ほとんどが彼女等）は北野高校ダンス部の部員で、あの場所は格好の練習の場になっています。数年間同好会で頑張っ、2009年にやっと部として認められたそうです。練習中の彼等の横を通る時、折り目正しく挨拶をされると、いささかまぶしい感じがするものです。近年こうした風景は街中でもよく見かけるようになりました。そして今年4月からは、このストリートダンスが中学校の必修科目になったそうです。

ところで、若者にたいへん人気があり、動員力もあるダンスアーチストグループが、十三を本拠地として活動しています。「レッキングクルーオーケストラ」という結成9年目の8人のグループで、彼らの練習とダンサー育成の場として、スタジオを十三西口に持っています。9月の大阪公演の後、11月には香港公演も決定しているそうです。リーダーは100年にひとりの天才と呼ばれるYOKOIで、彼は十三育ちの若者です。

「レッキングクルーオーケストラ」のスタジオ近くに「第七芸術劇場」があります。“どこもやらない、やれないことを”をキャッチフレーズに、2009年7月から活動を開始しています。国内外の社会性の高い、しかし“どこもやらない”ドキュメンタリーやドラマを上映したり、文化・政治などをテーマにしたトークショーを開催したりしています。“文化のチカラが急速に衰えつつある大阪の街に、文化的刺激を与えたいと考えています。平たく言えばオモロイ刺激的な大阪を蘇らせるための役割を担いたい”と関係者は熱い想いを語っています。

「第七芸術劇場」の1階下にある「シアターセブン」でもユニークなイベントが展開されています。6月には東大出の異色浪曲師春野恵子が「武者修行15番勝負」と称して15日間演じ続け、大阪で生れた浪曲の継承と発展のための支援を訴えていました。

十三を代表する文化イベントといえば「なにわ

淀川花火大会」を描いて他にありません。今年も

8月4日（土）に実施されました。花火大会としては、運営方法、参加者数、花火の質量等いずれも全国屈指のイベントです。平成元年に十三の街興しを、と商店街の皆さんが手弁当で始められ、今年で24回目を数えています。スタート当初、小生は対岸で川床の芝生に寝転がりながら近所の連中と次々に打上げられる大輪の花模様を楽しんでいたものです。この大会もここまで成長する間に運営のピンチは幾度もあったようですが、その都度商店街の皆さんの努力でぐり抜け、今はがんと寿司の小嶋会長が運営のリーダーとなって頑張っておられます。ご存知のようにがんと寿司は小嶋さんが十三で起業され、一代で急成長を遂げましたが、一号店も本社もそのまま十三にしっかりと根をおろしておられます。

このところ、大阪の文化に関わる活動は元気がないと云われています。たしかに厳しい経済状況が市民生活のゆとりを奪い、文化を楽しむ余裕を持てなくなっているようにも思えます。しかし、つぶさにながめてみると、どこいそうでもない状況がみえてきます。大阪には、古くから市民の間に根づいた伝統芸能と、それを守り育てる活動から、他の地域にはできない独自の新しい文化へのチャレンジまで、多種多様な活動が日々行われています。ただ残念ながらそうした活動が、全体として大阪の文化状況を盛り上げるインパクトにはなっていません。

文化とはあくまで市民生活のなかから生れ、市民の力で育まれていくものだと思います。そしてそれらの文化及び文化活動が“百家争鳴”し“百花繚乱”状態となることにより、はじめてその地域全体の文化状況に豊かさをもたらす力となるのだと思います。つまりは、“寄ってたかって”状態が大切だということでしょう。

私たち六稜人にとって“もうひとつの我がまち”十三にも“文化の香り”があります。エリアの文化活動との連携もまた、我々の活動の一環として考えられるのではないのでしょうか。

さらなる充実をめざして

大阪府立北野高等学校 校長
六稜同窓会 名誉会長 楠野 宣孝



六稜同窓会の会員の皆様には、平素より母校の教育活動への深いご理解と多大なるご支援を賜り、心から厚く御礼を申し上げます。

生徒たちは、それぞれの目標の達成に向かって、勉強に部活動に、学校行事に充実した高校生活を送っております。我々教職員も、成長期の真ただ中にある彼らが、興味・関心の輪を広げながら、心身ともに逞しく育って行けるよう、「鍛える」を合言葉に日々取り組んでいるところであります。

さて、大阪府では教育をめぐる大きな動きが続いています。まず、国と府の施策による高校授業料の実質無償化が3年前に始まり、公立と私立の競争が激化しています。中学生にとっては学校の選択肢が増えましたが、高校においてはより行きたい学校となるように、特色づくりをはじめ、教育内容のさらなる充実が求められています。

また、2年前に国際社会で活躍できるリーダーを育成する進学指導特色校（グローバル・リーダーズ・ハイスクール）として、実績や取り組みなどから府立高校10校を指定し、通学区域が府内全域である文理学科を4クラスずつ、全体で40クラスの募集が始まりました。本校もその1校ですが、現在1年と2年に文理学科があります。中学生にとって人気が高く、入試選抜においても文理学科及び並置されている普通科ともに競争倍率が上昇しています。普通科のみであった最後のH22年度の倍率は1.28倍、それが今年度、H24年度では普通科1.51倍、文理学科にいたっては2.46倍となっています。この傾向はこれからも続くと思われる。

また、通学区域も変わります。5年前に、これまで9学区であった通学区域が4学区に変わり、今度は2年後に通学区域が撤廃されます。ということは、普通科にも大阪府全域から受験ができるようになります。

このように、教育改革が急速に進んでいますが、北野高校の教育方針は揺るぎません。文武両道、知・心（徳）・体のバランスの取れたリーダーの育成です。

最近の文武両道の例としましては、昨年度、陸

上の短距離とスキースのラロームで全国大会へ行った女子生徒が2名、今年度もフェンシングで女子生徒が全国大会へ行きます。また、先日テレビでも報道されていました「科学の甲子園」というコンテストがありました。これはJST（独立行政法人 科学技術振興機構）が昨年度に創設したもので、昨年10月末に大阪府予選が行われ、理科（物化生地）と数学・情報のテストに6人組が参加し、公立・私立の強豪校を破り優勝しました。今年の3月末に全国大会があり、2人加えた8人組で出場し、筆記競技では全国第2位でしたが、実験競技で8位、総合競技（容器作りとクリップモーターカー作成）では時間切れなどがあり29位となりましたが、その結果として総合成績は全国第9位と大変健闘しました。

学校においては、生徒を取り巻く環境が大きく変化している中、生徒自身の気質も変化していることにも対応できるように、様々な取り組みを進めています。その一つとして、さらなる授業の充実にも努めています。例えば、昨年度より電子黒板を導入し、現在18教室で英語を中心に多くの授業で活用しています。これには他府県を含め多くの学校からの見学者が来ています。

さらには、生徒の知的好奇心を刺激するための新しい取り組みとして、6月3日（日）に実施した文化祭「六稜祭」の代休日に、希望者375名を連れて京都大学を訪問しました。午前10時から午後4時半まで、総長の講話や特別授業、サークル紹介や受験指導など大変充実した一日でありました。

今後は、グローバルな感覚の育成として国際交流も充実させたいと考えております。文武両道、いろんな仕掛けをしています。

このように、今年も北野高校では頼もしい生徒たちが学んでおり、我々教職員も彼らの夢をかなえるべく、日々全力で頑張っているところです。六稜同窓会の皆様におかれましては、今後とも、温かい励まし、さらにはご支援をお願い申しあげましてご挨拶とさせていただきます。

会計報告

平成23年度 六稜同窓会一般会計決算報告

自：平成23年4月1日

至：平成24年3月31日

(円)

	平成23年度予算	平成23年度決算	備考
収入の部			
1 入会金収入	960,000	957,000	319名×3,000
2 年会費収入	21,000,000	18,379,500	6,138名
3 総会費収入	800,000	986,500	
4 寄付金収入	0	1,077,000	
5 利息収入	0	859	
6 会館維持協力金	700,000	1,022,001	
7 同窓会記念品売上他	300,000	512,489	
収入合計	23,760,000	22,935,349	
支出の部			
1 運営費	13,050,000	13,067,690	
(1) 人件費	7,800,000	7,618,134	
(2) 旅費・交通費	1,000,000	1,303,070	
(3) 通信費	450,000	362,450	
(4) 印刷・事務用品費	800,000	841,072	
(5) 什器・備品	100,000	42,308	
(6) 会議費	100,000	117,356	
(7) 総会費	1,100,000	1,178,687	
(8) 慶弔費	400,000	241,750	
(9) 会費払込手数料	900,000	846,972	
(10) 同窓会記念品制作費	100,000	155,442	
(11) 雑費	300,000	360,449	
2 広報費	5,750,000	3,791,531	
(1) WEB関連費	650,000	653,130	
(2) 会報発行関連費	4,800,000	2,838,601	
(3) 広報全般経費	300,000	299,800	
3 全国大会等出場援助費	200,000	167,300	
4 各種事業援助費	700,000	953,509	
5 教育環境整備援助費	1,000,000	500,000	
6 同窓会館関連費	2,000,000	2,444,858	
(1) 什器備品・設備費	500,000	760,800	
(2) 光熱費	1,300,000	1,186,778	
(3) 設備管理費	200,000	497,280	
7 予備費	1,060,000	0	
支出合計	23,760,000	20,924,888	
本年度収支差額	0	2,010,461	
年会費前年前受	△ 8,590,500	△ 8,590,500	
次年度年会費前受	8,500,000	8,371,500	
前年度繰越金	6,913,786	6,913,786	
次年度繰越金	6,823,286	8,705,247	

以上の通り平成23年度一般会計報告を致します

平成24年4月18日 六稜同窓会会長 山本 雅弘

上記一般会計報告は正確であることを認めます

平成24年4月18日 六稜同窓会監事 北浦 康弘

六稜同窓会監事 鈴木 基史

平成23年度 六稜同窓会基金会計決算報告

自：平成23年4月1日 至：平成24年3月31日 (円)

科目	決算	摘要
収入の部		
1 利息収入等	5,449	
収入合計	5,449	
支出の部		
1 残高証明手数料	1,260	
支出合計	1,260	
本年度収支差額	4,189	
前年度繰越金	22,374,716	三井住友定期・普通預金・りそな定期・郵便貯金
次年度繰越金	22,378,905	

以上の通り平成23年度基金会計報告を致します
 平成24年4月18日 六稜同窓会会長 山本 雅弘
 上記基金会計報告は正確であることを認めます
 平成24年4月18日 六稜同窓会監事 北浦 康弘
 六稜同窓会監事 鈴木 基史

平成24年度予算は平成24年2月25日の理事会で、平成23年度決算は平成24年6月23日の理事会で承認されました

お問い合わせは事務局へご連絡ください

平成24年度 六稜同窓会一般会計予算

平成24年4月1日 (円)

	平成24年度予算
収入の部	
1 入会金収入	960,000
2 年会費収入	21,000,000
3 総会費収入	800,000
4 寄付金収入	0
5 利息収入	0
6 会館維持協力金	500,000
7 同窓会記念品等売上他	500,000
収入合計	23,760,000
支出の部	
1 運営費	14,200,000
(1) 人件費	7,800,000
(2) 旅費・交通費	1,300,000
(3) 通信費	400,000
(4) 印刷・事務用品費	800,000
(5) 什器・備品	1,000,000
(6) 会議費	100,000
(7) 総会費	1,100,000
(8) 慶弔費	400,000
(9) 会費払込手数料	900,000
(10) 同窓会記念品制作費	100,000
(11) 雑費	300,000
2 広報費	5,900,000
(1) WEB 関連費	600,000
(2) 会報発行関連費	5,000,000
(3) 広報全般経費	300,000
3 全国大会出場援助費	200,000
4 各種事業援助費	700,000
5 教育環境整備援助費	300,000
6 同窓会館関連費	2,400,000
(1) 什器備品・設備費	800,000
(2) 光熱費	1,300,000
(3) 設備管理費	300,000
7 予備費	60,000
支出合計	23,760,000
本年度収支差額	0
年会費前年受	△ 8,371,500
次年度年会費前受	8,500,000
前年度繰越金	8,705,247
次年度繰越金	8,833,747

東京六稜会 第55回総会のご報告

小國敏和 (93期)



東京六稜会第55回総会は6月1日(金)に学士会館で行われ、200名を超える同窓生が一堂に会する盛会となりました。

【総会】

総会は、川尻和子さん(93期)の司会で始まりました。最初に志甫溥東京六稜会会長(60期)からご挨拶があり、人と人との繋がりが世の中でもっとも強い形で存在していることをもう一度考え直してみてはどうかというお言葉をいただきました。続いて来賓の楠野宣孝北野高校校長から、母校では、昨年国体の陸上とスキーに女子選手を送り出す一方、科学甲子園では大阪大会優勝、全国大会でも総合9位という好成績を修めるなど、文武両道の伝統は今も活きているというお話がありました。また、山本雅弘六稜同窓会会長(71期)からは、日本人皆が「絆・利害を超えた心の繋がり」を考



総司会 川尻和子さん

えており、その中で六稜同窓会として何をなすべきかを考えて行くべき、というお話がありました。最後に、黒岩暎一東京六稜会事務局長(75期)から今年度の会計、役員体制等の説明がありました。

【第一部 講演】

総会に続いて、奥真也君(93期)による講演が行われました。奥君は、高校時代はテニス部に所属、卒業後は東京大学医学部に進学、東京大学医学部准教授を経て、現在は会津大学先端情報科学研究センターの教授として活躍されています。(講演の最後に、「実は7月から大阪で外資系製薬会社の経営企画チームの一員になります。」という驚きの発言もありました。)講演は「自己決定権時代の日本人～放射線問題渦中の福島県から」というタイトルで、福島県内の大学に勤める科学者としての視点から、福島原発問題に関する被災地の



奥真也君



東京六稜会 志甫会長



楠野北野高校校長



山本六稜同窓会会長



黒岩東京六稜会事務局長

現実を話していただきました。

奥君は、震災直後、まず家族を安全な場所に移した上で、自らの専門性を生かしてできることを始めていったそうです。福島県内の各所で放射線の健康影響に関する講演活動をはじめ、放射線積算線量や内部被曝線量評価を表示するアプリの開発、日本医学放射線学会の放射線に関する声明文の草稿委員等、幅広い活動を行ったとのこと。一連の活動を通じて福島や日本の本質的復興のために、我々が何をなすべきかについて話していただきました。今でも地方紙の一面トップはほぼ毎日、原発に関する記事であり、楽観が許されないという空気が続いており、地元の雰囲気は重く、強い被害者感情が感じられる印象だそうです。放射線被曝の厳格な管理が必要な一方、「危険神話」とでも呼ぶべき過度な排除活動は軌道修正されるべきという話や、福島に留まるかどうかは、結局は各自が自分で決めるべきことである、という提言もありました。締めくくり、福島、ひいては日本全体の問題が国際的に正しく理解されるために、日本人が今後、もっと海外に出なくてはならず、次世代がグローバルな舞台に立てるように礎をつくりたいとまとめられました。なお、皆様への参考資料として原発問題に関する著書を配布され、たいへん好評でした。

【第二部 懇親会】

懇親会の司会は植田久子さん（93期）が務めました。ご来賓の黒田真樹北野高校教諭、千種康一常任理事、徳岡浩二常任理事、笹川忠士事務局長、久保田静事務局次長のご紹介の後、今年から復活した鏡割りが行われ、続いて出席者の中で最年長の江川隣之介さん（56期）の力強いご発声により、乾杯が行われました。



懇親会司会 植田久子さん



小霜さん挨拶

しばらくの歓談後、広告クリエイターの小霜和也君（93期）がこれまで制作したCMを繋げ、少し趣向を凝らして上映しました。小霜君は高校卒業後、東大法学部で法曹界を目指したはずが、ふとしたはずみで広告界にはいつてしまったそうです。そんな彼の作品を観て

しばらくの歓談後、広告クリエイターの小霜和也君（93期）がこれまで制作したCMを繋げ、少し趣向を凝らして上映しました。

みると「これも彼が作ったの？」と驚かされるばかりでした。

新入会員紹介では清水洗一さん（123期）及び安達将太さん（124期）が元氣よくご挨拶をされました。



新会員挨拶（清水洗一さん、安達将太さん）



若手アワー（若松佑輝さん、田中啓介さん）

続く若手アワーでは122期の若松佑輝さん、田中啓介さんに各々の大学進学の間経緯や、高校時代の楽しいエピソード、若い世代としての力強い意気込みも含め語っていただきました。

懇親会も無事終盤を迎え、幹事代表の小國敏和（93期）から来年度幹事代表の大鐘美明君（94期）へたすきの引継が行われました。校歌斉唱では、応援部OBの中村雅一君（93期）が力強いリードで出席者全員が一つとなって、それぞれの想いを胸に北野高校校歌を斉唱して懇親会はお開きとなりました。



棒引継の様子

今年度は、大震災からおよそ一年が経過し、少しでも盛大な同窓会を成功させ、同窓生そして東北や全国の皆様にとっても、僅かでも希望の架け橋となろうと準備してきましたが、皆様のご協力で無事終了することができました。東京六校会の幹事、事務局、会員の皆様、そして一緒に総会を盛り上げていただきましたご出席者の皆様に心より御礼申し上げます。



校歌斉唱

六稜トークリレー

Rikuryo Talk Relay

<http://rikuryo.or.jp/talkrelay/>

東京六稜倶楽部

<http://rikuryo.or.jp/tokyo/rikuryo-club/>

日時★原則、毎月(第1)土曜日
13:30会場 14:00開演(約2時間)
会場★六稜ホール(六稜会館3F)
※1Fロビーも同時使用可
会費★500円(お飲み物を準備しています)
主催★六稜同窓会
共催★各期同期会 or クラブOB/OG会など



毎月(第3)水曜日★日時
11:00開場 11:30開演(約2.5時間)
会場★ライオン銀座クラシックホール★会場
(銀座ライオン7丁目店6F)
2,000円(ランチバイキング付)★会費
東京六稜会★主催
松本邦宏@70期/細見裕子@77期/山上芳昭@79期★事務局



第98回 信川正順さん@113期
(京都大学次世代研究者育成センター特定助教)
「エックス線で見える激動の宇宙」



第115回 正岡徹さん@63期
(大阪府成人病センター顧問、正岡会会長)
「白血病と正岡会」



第99回 糸川真実さん@115期
(箕面市総合保健福祉センター勤務)
「宮古市でがんばっぺす！
大津波を乗り越えて…」



第116回 釜江常好さん@70期
(東大、スタンフォード大名誉教授)
「専門知識が生かされる社会：
大学と社会の連携の強化」



第100回 たかのてるこさん
@101期(旅人・エッセイスト)
「地球はドでかいテーマパーク！
～旅に出て、世界中の人と笑
い合おう！」



第117回 菱谷拓也さん@91期
(カシオ計算機海外営業統轄部企画管理部 GM)
「意外と知らない貨幣の話」



第101回
下平嘉昭さん@61期
(下平金属工業所 会長)
下平憲義さん@90期
(下平金属工業所 社長)
下平泰生さん@119期
(関西電力株勤務)
「創部90年、伝統を継
いで～親子孫三代ラ
グビー部主将～」



第118回 佐藤勝昭さん@72期
(東京農工大学名誉教授、
JST さきがけ「次世代デバイス」研究総括)
「スケッチで綴る世界の旅」



第102回 正岡徹さん@63期
(正岡会会長、元大阪府立成人病センター病院長)
「白血病、正岡会、そして囲碁」



第119回 講師未定



第103回 多田正世さん@75期
(大日本住友製薬株式会社代表取締役社長)
「医薬品事業のグローバル化(仮題)」



第120回 金森利至さん@79期
(元持田製薬バイオサイエンス研究所長、
製剤研究所長)
「ネパールライフ
～シニア海外ボランティアに応募して～」

ご存知ですか？



一度、六稜 Web を経由して amazon.co.jp でショッピングをした場合、購入代金の数%が Amazon 社から六稜同窓会へ寄付されます。

本を売価で買って、著者を応援し、同時に母校への還元にもなる……ちょっと「いい気分」なプログラム。ぜひ、ご協力ください！(書籍以外の商品もすべて有効です。) <http://rikuryo.or.jp/books/amazon-associate/>

いますぐクリック→



六稜トークリレーは今年9月8日、記念すべき第100回を迎えます。毎月第一土曜日(原則)の午後、六稜会館で著名な同窓生が語るイベントですが、100回も続けられてきたこと、100人(もちろんそれ以上)も著名人がいることが驚きです(東京六稜会主催の東京六稜倶楽部は9月に第117回目の講演が予定されていますから、さらに驚きです)。

企画・実施を担当する催事委員会のメンバーは、12時過ぎには集合して会場の椅子を配置し、講師のプレゼンデータや資料、記録写真、ビデオ撮影の準備に加え、休憩時間のお茶とお菓子の用意を黙々とこなしています。講演後には

次回の準備会議を行い、講師推薦についての情報交換、新規事業の検討を行いました。参加者の笑顔と、超多忙な講師が久しぶりに母校に帰って来られて旧交を温め合う様子を見る事だけを喜びに、奉仕を続けてきたのです。個性派ぞろいの講師陣が語られた、一人ひとりの人生の重みが継続の支えでもありました。

また、様々な問い合わせや関係者間のアポイント調整、マスコミ取材やクレーム処理まで地道に対応していただいた事務局の労苦にも頭が下がります。山本会長による名調子の御挨拶、同期生の歯に衣着せぬ講師紹介も愉しみな定番になってきました。

第100回の講師には、世界中の人々と仲良くなれるエッセイスト・旅人たかのてるこさん(101期)を



第100回六稜トークリレーにぜひ、ご参加ください!

前 会館催事委員長 徳岡浩二(92期)

お招きしています。「地球はドでかいテーマパーク!~旅に出て、世界の人と笑い合おう!」という、節目のタイミングにはピッタリのタイトルで、とても楽しみです。また、当日は書籍即売会およびサイン会に加え、101期の同期会や水泳部のOB会も予定されているとか。きっと六稜ホールには、40歳以上も年齢差のある同窓生たちの笑いが満ち溢れ、仲良くなれるに違いありません。さらに、1階ホールでは、これまでの講演を振り返るポスター展示も同時開催予定です。谷卓司副委員長(98期)の永年にわたる尽力の素晴らしい作品も一見の価値があるでしょう。お見逃しなく。

トークリレーはいつも皆さまをお待ちしています。土曜の午後、ちょっと時間が出来たらふらりと母校に立ち寄りみてください。見ず知らずの同窓生、先輩が妙に親しげに声をかけてくれますよ。ちょっと照れくさい感じも六稜ホールのまあるい空間と一体に包まれれば、うちとけてくつろぎに変わるでしょう。忙しい現役世代の方々も、生涯学習の貴重な機会として是非役立てていただきたいものです。これを機会にトークリレーの常連参加者になってください。

私事ですが、6月に催事委員長を退任することになりました。これまでご協力頂いた皆さまに改めて感謝を申し上げます。田中浩作委員長(71期)のもと新体制もスタートしています。催事委員会の新たな「旅立ち」にも是非、エールを送ってくださいね。



▲講演後のミーティング風景
第85回(May.7,2011)



▲講演は毎回ビデオ記録
第92回(Jan.22,2012)



▲催事委が誇る美女軍団
第94回(Mar.3,2012)



▲休憩時間は講師と気軽におしゃべり
第97回(Jun.9,2012)

10月20日(土)行列のできる就活相談所&若手交流会開催

『行列のできる就活相談所&若手交流会』は、今年で6回目を迎え、学生、社会人合わせて100名近くの方にご参加いただけるFR委員会主催の大イベントにまで成長しました。

就職活動を通して、今までの自分や将来の自分に目を向け、初めて「仕事」について真剣に考えるのではないのでしょうか。その過程を実際に社会で働いている六稜の先輩方に少しでもサポートしてもらいたいという思いからスタートしたイベントです。また、社会人にとっては、学生からの仕事に対する素朴な質問から、改めて仕事をしていく上での大切な気持ちを思い出す場にもなります。ぜひ多くの卒業生の方にご参加いただき、懐かしい仲間や世代を超えた六稜生と一緒に多くの気づきがある場にしましょう。

13:00 第一部	就活相談所2012	若手交流会
	<p>●対象：新卒・院卒・第2新卒で就職活動中の六稜生</p> <p>●場所：北野高校多目的ホール</p> <p>「何故仕事をするのか」「何のために仕事をするのか」など今まであまり考えてこなかったテーマについてグループワークを通して迫り、自分のやりたいことに気づききっかけの場とします。同席する社会人からのフィードバックを通じて、就職活動のやり方から仕事のリアルな実情まで多くのことを学ぶことができます。</p> 	<p>●対象：20代・30代(104期以下)の六稜生</p> <p>●場所：六稜会館3階 六稜ホール</p> <p>懐かしい仲間との交流の場とします。卒業後、様々な職業に就かれている方と話ができる貴重な機会となります。昔の仲間を誘い合って、多くの方にご参加いただきたいと思います。</p> 
15:00	合同イベント 若手社会人×就活生 クロストーク	
15:15 第二部	<p>●対象：20代・30代(104期以下)の六稜生</p> <p>●場所：六稜会館3階 六稜ホール</p> <p>就活生の皆さんが社会人へ、仕事をしているのリアルな感覚を聞ける機会です。六稜の先輩ということもあり、他の就職セミナーでは聞けないような裏話や本音を聞けるチャンスです。様々な業界で活躍する若手の先輩に今までの疑問をぶつけてみてください。また、就活生にご協力いただける社会人も多数募集します。毎年、参加した社会人からは、学生からのストレートな質問に答えることで自分の仕事について改めて考える機会になるという声を多数いただいております。仕事について日常で感じることをぜひ学生のみなさんへ伝えてください。</p> 	
17:00	懇親会	
17:30 第三部	<p>●対象：1部・2部参加者</p> <p>●場所：十三周辺</p> <p>お酒の席で、自由に話をしていただける場です。第一部、第二部ですでにこなかった本音トークも飛び出し、毎年大変盛り上がります。</p>	
20:00		

イベント最新情報は六稜 WEB または Facebook のコミュニティまで

「若手六稜生が交流できる Facebook グループが誕生」

FR 委員会では40歳以下の若手六稜生が WEB 上でも交流できるように、Facebook 内で「【FR 六稜】北野高校若手 OB. OG !」というグループを作っています。ぜひ登録して、様々な情報交換をしましょう。

<https://www.facebook.com/groups/fresh.rikuryo/>



トピックス1

●観梅会 感想記

山田 晋作 (66期)

平成24年の六稜観梅会が、2月22日(水)午前11時、梅林六稜記念碑前に集合して行われた。当日の天候は曇り、風もなく、梅林にて寒くはないが、暖かくもなしでした。

観梅会参加者は、事務局の参加者名簿では、46期から109期までと幅広く、事務局7名を含め86名となっていました。当日参加の方もおられたと思います。そのうち、わが66期は17名と最多の参加でした。

お目当ての梅花は、異常な寒さが続いた所為か開花が大幅に遅れ、全体としては蕾か、蕾み膨らむといったところで、ちなみに大阪市の花とみどり総合情報サイトの「大阪城梅林」の開花情報では、早咲きの寒紅と冬至梅が満開近し、野梅が3分咲きのほかは、ちらほら咲きか蕾みとなっていました。(同情報では、3月7日5分咲き、14日満開でした。)

それでも、参加者は、よく手入れされた梅林を廻って、早咲きの梅花の前でスナップ写真を撮ったり、久し振りの級友と歓談したり、思い思いの形で楽しんでおられました。頃合いを見て、記念碑の前で、梅林と大阪城をバックに、恒例の参加者全員での記念撮影を行い、その後、徒歩或いはタクシー相乗りで、それぞれ懇親会の会場へと向かいました。

実は私は、六稜観梅会に今春はじめて、千葉市からですが参加しました。梅林が開園した昭和49年春当時、丁度大阪での勤務で、馬場町角にある大阪府警本部に勤務していましたが、梅林のことはその後知って、爾来訪園を切望しながら、各地転勤の連続等でその機会に恵まれず、開園40年近くになって、やっと念願がかなった次第です。

私は、5歳頃まで森之宮駅前前で育って、どこかに記憶でも残っているのか、大阪城には大変に親近感を持っています。そして約10年後、中学校への通学で、大阪駅から玉造駅まで国鉄城東線(現JR環状線)を利用していたため、森之宮駅を発車直後、線路両側に、終戦直前の米空軍B29大編隊の猛爆でほぼ全壊した大阪砲兵工廠跡を毎日目にすることとなり、大阪城側も現在の太陽の広場あたりかに、1トン爆弾投下跡の巨穴も見え

たなど無残な姿となっていたのが忘れられません。その辺りも文化や運動の施設を備えた都市公園として整備され、埋められ工廠敷地とされていた梅林東外堀も復元され、陸軍の施設があり被災した梅林の地域も梅の名所となっているのを見て、今更ながら感無量でした。

梅林は、母校創立100周年記念事業として、六稜同窓会から大阪市に寄贈されたと承知してはいますが、私はふと、明治時代の教育者新島襄が、梅に託してあらまほしき人物像を詠じた五言絶句

「寒梅 庭上一寒梅 笑侵風雪開 不爭又不力 自占百花魁」*

を想い出し、先輩方は、天才のかたみと校歌にも謳われた大阪の城に梅林を遺すことで心意気を、そして後輩に期待の程を示されたのかななどと思い廻らせながら、会場を後にしたところです。

観梅会に続く懇親会は、KKRホテルの14階オリオンの間で12時半から行われました。

笹川事務局長の司会で始まり、乾杯の音頭を最長老の牛田晴夫氏(46期)が取られて、懇親に入りました。和やかな歓談が続いたのち、途中体調を崩された方がおられたようですが、長老の阿部源三郎氏(50期)が元気なお声で終宴の挨拶をされ、参加者全員で校歌を斉唱して、予定時刻より少し早めに、再開を約して解散となりました。

最後に、お世話頂いた事務局の皆さん方に厚く御礼を申し上げます。



※寒梅 かんばい
庭上一寒梅 ていじょうの いちかんばい
笑侵風雪開 わらって ふうせつをおかして
ひらく
不爭又不力 あらそわず また つとめず
自占百花魁 おのずから ひゃっかの さき
がけをしむ

庭先の一本の寒中に咲く早咲きの梅は、寒風や降雪にもめげず、笑えるかの如く平然と花を開かせる。一番咲きを競うわけでも、また背伸びをするわけでもなく、自然に、あらゆる花の中で、真っ先に花を咲かせる。

●「創立記念日の記念碑の会」に参加して

長谷田三保子 (66期)



2012年4月20日、はじめて「記念碑の会」に参加しました。今年の4月20日はあいにく小雨の降る日でしたが、私は在学中に友達とお喋りをしながら歩いたあの長い十三大橋を何十年振りかで歩いてみたく、十三から済生会中津病院に向かいました。病院は幅広い車道に面していましたが、前庭の辺りは案外静かでした。記念碑はその前庭の植え込みにあり、堂々とどっしりとしているにも拘わらず、その姿はすっきりとした感じがしました。

記念碑を前にして3年間に学した兵舎のような校舎での様々な事柄を想い、機銃掃射の弾痕が残された壁面と天空に向かって大きく開けられた六稜の標のある現在の新校舎に「北野」そのものがあるように思えました。

そして創立112年目の4月(1985年)に、「記念碑の会」の有志により建立されていたにも拘わらず、この地に記念碑があることを知らなかった自分を恥じました。

北野の卒業生であることを余り意識しなかった私でしたが、同窓会会館の建設資金募金の知らせを手にした時、大勢の卒業生が各界で活躍されているにも拘わらず、どうして資金集めが大変なのだろう、と不思議に思い、「貧者の一灯」を届けねば、と思いました。

記念碑の前で記念撮影後の懇親会に出席して先輩方のお話にすっかり北野の世界に引き込まれました。いつもお元気な最長老の50期の阿部源三郎先輩のご挨拶のあと、諸先輩方のお話によき北野の空気にどっぷりとつかってしまいました。

出席者は50期から71期までの20余名でしたが、毎年開催されている「大阪城の観梅会」に併せ、「創立記念日の記念碑の会」も同窓の集いとして素晴らしいことと感じました。今後、参加者が更に増えることを願います。

●来年の創部90周年にむけて

六稜ラグークラブ 幹事長 梅本州一 (89期)



日本代表キャプテンの廣瀬氏と藤村会長

1923年(大正12年)創部の我が六稜ラグークラブは、来年創部90周年を迎えます。この節目を新体制で迎えるべく、本年7月8日に行われたOB総会で、長きに渡り当クラブをリードして頂いた自見前会長(70期)から、藤村新会長(76期)へパスが渡り、副会長以下の役員組織も若返りが進みました。

また現役チームは、高校の定期戦では国内最古となる天王寺高校定期戦を過去88回途切れずに開催し、自他共に認める好敵手としてのしを削って参りました。

今年は1年早く創部した天王寺高校ラグビー部(桃陰ラグークラブ)が創部90周年を迎えられ、5月には聖地、花園ラグビー場にお招き頂いて記念試合が行われました。壮年(40歳以上)と若手(40歳未満)の κατηγοリーに分かれて行われた試合では、全国から集まったOB会員が、思いを込めてラグビーを満喫しました。

OB会員が各界で活躍している事は申すまでもありませんが、現在のラグビー日本代表チームのキャプテンを廣瀬俊朗氏(112期、東芝ブレブルーパス所属)が務めている事は、ラグビー部関係者のみならず六稜同窓生の誇りではないでしょうか。



記念試合(若手の部)

残念ながら、部員数に恵まれない現役チームは、他校と合同での活動を余儀なくされていますが、OB会としましては更なる

バックアップを続け、90周年の先に100周年を見据え、連綿と繋がってきた歴史を次代へ引き次いで行きたいと思っています。

●「金を残すは三等、事業を残すは二等、人を残すは一等」

一故・阿部俊一先生追悼稽古・演武会を開催一

六稜合気会東京会長 **黒岩 暎一** (75期)

北野高校から「人を残すは一等」を学んだ。

故・阿部俊一先生(昨年5月18日死去、96歳)は、書道、合気道のふたつの道を歩み、極められ、多くの人を育てられた。間違いなく一等の師であった。

「武道は日本が生んだ世界へ誇れる一番の文化資産である。」「その中でも合気道は間違いなく一等の武道である。」「この素晴らしい資産を伝えていくのが自分の天命と思っている」と生前、語られていた。

そして合気道では十段位を授与された。(これまで十段位は2名のみ)

北野高校合気道部は故・阿部先生の創部(1961年)によるもので、今年50周年の節目を迎える。六稜合気会員は、427名(75期~124期)にもものぼっている。

また、故・阿部先生は、吹田市の自宅(書道を指導)に併設して、合気道場(天之武産合気塾)を開かれた。多数の六稜合気会員が北野高校を卒業後、この道場で一般人、各大学の学生などと一緒に現在でも稽古をしている。現在の北野高校合気道部の夏合宿などもこの道場を使用させてもらっている。この天之武産合気塾道場からも多くの子弟が育っている。

天之武産合気塾はご子息の阿部義之師範(七段)が継がれ、道場長として以前と変わらずに指導をされている。また阿部義之先生も書道家であり、北淀高校、春日丘高校の書道の教諭を務められ、父君と同じく、各高校で合気道部を創部されておられる。

六稜合気会では、創部50年の節目に合わせて、故・阿部俊一先生追悼稽古・演武会を北野高校(合気道部顧問:黒田真樹先生(94期)、合気道部主将:岩崎光司君)、天之武産合気塾(阿部義之道場長)のご協力を賜り、本年11月3日文化の日に北野高校体育館にて下記要領にて開催する運びになった。

故・阿部俊一先生の薫陶・指導を受けた各大学にも参加を依頼している。

また、六稜合気会員のみならず、書道履修者、一般の方々の見学も歓迎しています。

多数の方々にご参加を頂く、故・阿部俊一先生の追悼稽古・演武会になればと願う次第です。

追悼稽古・演武会 次第 平成24年11月3日

<第1部:挨拶> 午後1:30-2:00

1 開会の挨拶:六稜合気会長(大阪、東京)

2 来賓の挨拶:天之武産合気塾道場長阿部義之師範(七段)

3 協賛高校の挨拶:大手前高校溝脇元志先生(96期)

4 北野高校合気道部の挨拶:岩崎光司主将

<第2部:指導稽古> 午後2:00-3:00

・天之武産合気塾道場長阿部義之師範(七段)による指導稽古

<第3部:演武> 午後3:10-4:10

1 来賓演武

2 六稜合気会演武

3 北野高校合気道部演武

<第4部:交流会> 午後4:30-6:30

○北野高校合気道部、六稜合気会、天之武産合気塾、協賛高校、大学による交流

一会場:六稜同窓会館

(注意)現役の高校生が参加するのでアルコールはなし。高校生、大学生は無料。

○本件問い合わせ先:六稜合気会事務局

03-5408-7787

e-kuroiwa@tcg-eye.com



●故・阿部醒石先生墨蹟碑の建立の件

六稜同窓会事務局長 **笹川 忠士**

この度下記の趣旨で北野高校内に故・阿部先生の墨蹟碑を建立したいとの提案があり、6月23日の常任理事会、理事会で承認を受けてその旨北野高校に申し入れ、承認を得ました。来る11月3日に除幕式を行う予定です。

<建立の趣旨>

昨年5月18日に96歳で逝去されました北野高校旧職員、阿部醒石先生(本名、阿部俊一先生)

は、1948年から1982年まで34年の長きにわたって書道科教員として北野高校で教鞭をとられ、その薫陶は卒業生の多数に及んでいます。また阿部先生は屈指の書道家・武道家であり、書道家として日展等でご活躍の一方で、合気道開祖・植芝盛平翁の高弟として研鑽を積み合気道十段位を許されました。北野高校合気道部は阿部先生の創部によるもので、今年で創部50年を迎えます。合気道や書道や柔道で阿部先生の薫陶を受けた有志が、合気道・書道のみならず、学業、芸術、スポーツ等それぞれの道において、全北野高校生徒の励みとなるようなメッセージとして阿部先生の書を刻んだ墨蹟碑を母校に残したいと考えました。

【内 容】「合気とはよろず和合の力なり

たゆまずみがけ道の人々」

(合気道開祖、植芝盛平翁による合気道道歌)

阿部先生が生前大変好まれ、常日頃合気道部員に伝えておられたこと、また文武両道に励む北野高校生のすべてに対する激励の言葉となることなどから選定。

【石碑概要】高さ約1.3m 自然石

【費 用】概算75万円 六稜合気会有志、賛同者、協賛企業などの寄付でまかなう。

【設置場所】北野高校と協議の上適切な場所を選定

【発 起 人】

六稜同窓会会長：山本雅弘（71期）、六稜合気会東京会長／東京六稜会副会長：黒岩暎一（75期）、六稜合気会大阪会長：辰巳勝彦（75期）、六稜合気会：溝脇元志（96期：大手前高校教諭）、書道履修者代表：高端正直（68期）、六稜同窓会学内委員・書道履修者：的井洋二（78期）、六稜柔友会会長：大村浩一（68期）、六稜柔友会副会長：六稜同窓会事務局長：笹川忠士（74期）、東京六稜会会長・六稜同窓会副会長：志甫溥（66期）、東京六稜会副会長・六稜同窓会常任理事：松本 邦宏（70期）、六稜同窓会顧問：鎌田俊一（81期）、六稜同窓会学内委員・北野高校合気道部顧問：黒田真樹（94期）

●前会長 山本次郎氏 逝去

学年理事 加藤知彦（62期）

前会長・山本次郎氏が2月29日、肝硬変で亡くなられた。享年八十才であった。お身内での密葬を済まされたあと、3月25日に「山本・森・松尾法律事務所」と「六稜同窓会有志」との合同で「山本次郎お別れ会」がヒルトン大阪で開かれた。

当日の会には、大阪弁護士会の有志、六稜同窓会六二会、北野高校野球部OB会を中心に約150人が山本次郎氏を偲んで集まった。会場正面には、



「山本次郎氏の遺影」が飾られ、それと並んで「昭和24年全国選抜高校野



球大会の優勝旗」を始め「昭和51年、最高裁での議員定数不均衡訴訟で違憲判決を勝ち取った折の風景」「弁護士会有志でのイエプリキン芝居風景」などの写真が展示、若い時の華やかな姿も思い出され、「賑やか好き、明るい性格の次郎君」を送るにふさわしい集まりであった。大勢の出席者の中から、

大阪弁護士会 中本和洋会長始め、弁護士
ご代表、友人

顧問先代表 田中電工(株)

田中 睦相談役（62期）

六稜同窓会 志甫 溥副会長（66期）

六二会友人代表 秋本 守英君（62期）

野球部OB代表 上條 孝二君（68期）

友人 菅 正徳君（69期）

からそれぞれ、友情と思い出を込めてのお別れの言葉が語られた。

会場に山本氏が大好きであった「ワグナーの管弦楽曲」が流れる中、これも大好きだった赤ワインのグラスが交わされ、「お別れ会」とは思えないような、明るく、楽しい集まりであった。会の終わりに、森繁久彌氏の歌う校歌「六稜の星」が流され、和やかで、そして淋しい「山本次郎お別れ会」は幕が閉じられた。

山本氏は早くから「六稜同窓会」の活動に貢献され、広報委員長として「六稜会報の充実」、副会長として「六稜会館建設の推進」、そして平成16年に会長に就任、同窓会全般の発展に貢献され、若手OBの意見を聞き出そうと「FR委員会の設立」、また生徒諸君の励みにしようと「北野高校文化活動振興賞の設置」など数多くの功績を残された。

本人はまだまだやりたい事があっただろう。六稜同窓会に対するこれまでのご功績にお礼を申し上げ、謹んでご冥福をお祈りします。

●三橋賢市先生最終講義&懇親会

北村 洋平 (123期)



三橋賢市先生とは——北野生ならだれもが知る「数学の神様」です。また、新卒で着任されて以来この高校で教鞭を握られ続けた「北野の重鎮」でもあります。ただ、外見はとても可愛いおじいちゃん。優しいオーラとおっとりしたしゃべり方で生徒から大人気の名物先生でしたが、昨年度をもって北野を退職なさいました。

「何か記念になることを！」と、123期生と黒田先生が中心となってこの会が企画され、当日には200名近い123期生とOB・OGの方々、先生方が集まりました。

最終講義は三橋先生らしく終始なごやかな雰囲気が進みました。講義らしく数式が出てきたり(チンプンカンプンでした！)、昔と今の顔写真を見比べたり…その中で三橋先生が「必ず基礎から教えること」を信念とされていたことを聞きました。思い出すとたしかにその通り。三橋先生は授業のときでも、質問に伺ったときでも、難しい応用問題であってもまずは基礎から、面倒な途中式もなるべく省くことなく丁寧に生徒たちに教えてくださいました。「神様」の神様たるゆえんのひとつを知りました。

懇親会では、1年ぶりに会った仲間や先生方と話すことができ、また、自分はチャンスを逃してしまいましたが三橋先生とツーショットを撮ってもらう人がたくさんいました。豪華景品(?)のビンゴ大会も盛り上がり、賑やかな90分でした。

●この会を通して、三橋先生に対する愛はもちろんですが、それと同じくらい北野高校に対する大きな愛をみんなの楽しそうな笑顔から感じました。高校時代にはそこまでなかった感覚なのに、卒業してから気付かされるこの愛。これこそきっと“六稜魂”なのだと思います。卒業して1年、自分も“六稜魂”を受け継いでいたことを実感しました。

三橋先生、学年主任として123期生を見守り、送り出していただき、ありがとうございました。

また、長きにわたる北野高校でのお勤め、本当におつかれ様でした。北野で先生を見られなくなるのは寂しいですが、新しく赴任される学校でもステキな笑顔をふりまく「数学の神様」でいてください。

●第23回六稜期別対抗ゴルフコンペ 第77期連覇の報告

西村 晴夫 (77期)

7月29日、連日の猛暑が続く中、第77期の私たちが例年より多い10名のチーム編成で参加しました。昨年、念願の初優勝を飾る事が出来た事で今年は無様な結果にはしたくないという意気込みでしたが、連覇できました事は本当に「運が良かった」と思っております。ここで、私たち第77期の「ゴルフ活動」について、紹介しましょう。毎年、春と秋に定例のコンペを開催しております。参加者は20名前後です。また、夏と冬には有志が世話人を引き受けてくれて、パートⅡを開催しています。その他、2組程度のゴルフを年間5～6回実施しており、全てに参加すると未だに、同級生と年間10回以上顔を合わせています。反省会と称しては「飲み会」もやりますから、否が応でも「連帯感」が強くなっていったと思います。このように、ゴルフの好きな人達が仲良く、和気あいあいと集う中で、連覇出来たのは「最高の栄誉」です。ありがとうございました。



2012年クラブ対抗ゴルフコンペのお知らせ

第24回六稜クラブ対抗ゴルフコンペ
日時：2012年9月30日(日)
場所：三田カントリー27

2013年期別対抗ゴルフコンペのお知らせ

第24回六稜期別対抗ゴルフコンペ
日時：2013年7月28日(日)
場所：三田カントリー27

北野高校の屋上に天文台があるのをご存知でしょうか。2003年に創立130周年記念事業の一環で設置されたものです。当時、口径51cmのカセグレン式反射望遠鏡は西日本最大級で、卒業生の石川勇さん(71期)から寄贈の申し入れがありました。これを受け、地学部OBを中心とする卒業生らが寄金を募り、加えて大阪府・学校側の尽力と英断により、屋上ドームが施工され、望遠鏡は無事、収蔵されました。

以来、この「六稜天文台」は現役生徒を中心に有効活用されてきました。はからずも同時期、文科省から「スーパー・サイエンス・ハイスクール(SSH)」研究開発校の指定を受け、その中で地学専攻生も毎年10名前後、この望遠鏡を使って、主に太陽・月・惑星の観測を研究の対象に選び、地学研究部の部員も同様に各自の課題に取り組んでいます。

主な観測関連機材は以下の通りです。

- ・ 51cmカセグレン反射望遠鏡
- ・ 15cm 屈折望遠鏡
- ・ 8cm 屈折望遠鏡
- ・ H α 観測用フィルター

現在の六稜天文台は、地学研究部員6名と2年生の地学課題研究専攻生たち8名が中心になって運営しています。観測のために早朝から登校したり、夜の観測も積極的に参加。写真撮影とその後の映像処理を行っています。

2012年の今年は、例年になく様々な天体現象に恵まれ、文理学科の研究グループや地学研究部の部員は観測に大忙しです。

- ①金環日食(5月21日)
- ②部分月食(6月4日) ※実際には高度が低く観測不能
- ③金星の太陽面通過(6月6日)
- ④木星食(7月15日) ※昼間、月による木星遮蔽

いくつか紹介していきましょう。

◎金環日食【5月21日】

太陽・月・地球が一直線上に並んだ時に日食が見られます。

月の地球周回軌道も地球の公転軌道もそれぞれ楕円であるため、地上から見た太陽と月の視直径は常に変化しています。月の視直径が太陽より大きく、太陽全体が隠される場合を「皆既日食^{total eclipse}」と言い、逆に月の外側に太陽がはみ出して細い光輪状に見える場合を「金環日食^{annular eclipse}または金環食」と言います。



当日、生徒たちは15cm屈折望遠鏡(減光フィルター付き)に一眼レフ直接焦点で撮影。紙に投影した像を携帯で撮影するなど、いろいろな工夫をして、観測にあたりました。今回は、雲が多く苦労しました。



【特集】

知っていそうで知らない 六稜天文台

51cm 反射望遠鏡では、太陽表面の黒点と月の影の撮影に成功しました(左下の黒い部分が月。右にある数個の点が黒点)。

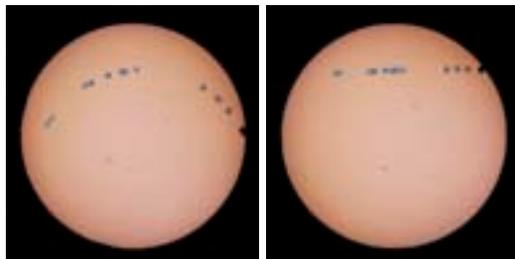


また、校章の六稜マークに沿って針穴をあけ、針穴写真機(ピンホールカメラ)の原理で、欠けた太陽像の羅列で六稜マークを描かせました。



◎金星の太陽面通過【6月6日】

太陽・金星・地球が一直線状に並んだ時、金星が黒い点となって太陽の前を横切っていく現象です。15cm 屈折望遠鏡で2分おきに撮影を行い、それを一定時間ごとに合成処理を施しました。曇天で残念ながら等間隔にはなりませんでしたが、ご愛敬。



▲見かけ上の金星の軌道

▲現実の金星の軌道

金星が太陽面に突入してから完全に抜けきるまで約6時間ほどかかります。この間、太陽の極軸は90度ほど傾きを変えます(下図)。

この太陽極軸の変化を考慮しないで、そのまま合成処理をしたのが、上記写真「左」のように、肉眼で眺めた「見かけ上の」金星の軌跡になります。

いっぽう、極軸の変化を考慮にいれ、常にこの極軸が揃うように合成処理をすると、上記写真「右」のようになります。これが金星の現実の軌道で、太陽面を一直線状に横切っていることが分かります。



▲太陽極軸の変化





初代天体望遠鏡 設置当時の思い出

▲西田駿夫先生(50期)と地学部員たち

われわれ66期生は、昭和26年春に入学した。そして1年生の30名足らずの男子生徒のみが地学という学科を選択した特異なクラスに入った。地学の内でも、天文に関する分野は、中学から入って来た少年達にとって、この上も無く、興味をあおる学科であった。また、これを教える「角谷保^{かどや}先生(55期)が、得もいぬ魅力的な方で、当時京大理学部から講師として赴任されてきた。



▲角谷保先生(55期)

天文に関する学問的分野は、桁外れの数字を扱う気宇壮大な学問であり、少年達は見果てぬ夢に胸をときめかせ、未知の学問に情熱を注ぎ、大いに勉強をしたものである。しかし、この宇宙を覗く手立ては無く、若き教育者の「角谷先生」は、いつしか皆に広大な宇宙の一端でも覗いてもらい研究してほしい…との情熱で、母校屋上に「天体望遠鏡」の設置の夢の実現に奔走された。

われわれ66期生が2年生になった昭和27年8月に遂にこの夢は実現された。われわれ生徒は、この立派な天体望遠鏡の購入、設置に如何ほど費用がかかったのかわかる由も無い。当時の資料があるのかどうかも…。当時の新聞には次のように記されている。アマチュアでは日本一、全国でも第6番目という30cmの大口径のもの、名称は「赤道儀反射望遠鏡」で、600倍まで。鏡筒は200cmであった。

本天体望遠鏡の運営、管理のため、急遽「地学部」を設ける必要があり、66期の岡本利男君(故人)と小松彦三郎君(現東大名誉教授)等が中心になり、盛んに部員募集の運動

が展開され、とりあえず人数的にはかなりの部員が参集した…中には「幽霊」もあったと思う。

以後、角谷保先生、西田駿夫先生(50期)を指導者に、65期、66期、67期の地学部員達は、天候等に配慮しながら熱心に観測活動を始めた。時には大手前高校の先生・生徒等も共同観測に参加した。観測対象は月、火星、木星(しま模様と第四衛星まで)、そして遙かかなたの白鳥座のアルビレオ、アンタレス等の恒星から、アンドロメダ星雲、オリオン星雲、琴座環状星雲等にいたる…天空の果てまで観測することができた。

観測に当たった当時は、各家庭にテレビも電話も無く、情報の伝達には苦労したものである。夜間の観測時には、夜食の調達が簡単にはいかず(現在のようにラーメンは無かった)、食料事情は想像以上に貧しかった。

角谷先生は、ご容貌も些かエイリアン的であり、常に眼差しは遙か彼方を見通しておられるような方であり、色々と哲学的なお話も伺った。そして些か深刻に「おまえら…宇宙の最果てを余り深刻に考えたらアカンぞ…」。この言葉は今も心に深く浸み込んでいる。これはまさしく当時の社会現象の病理を反映していたのだな…と思う。

大きな影響をわれわれに残して、この畏敬すべき恩師も、今は宇宙観測衛星「はやぶさ」の活躍、帰還など露知らず、天上のいずこかで微笑みながらわれわれを見守って下さっていると信ずる。

奈木 進(66期)



▲六楼会館地階で今もひっそりと保存されている初代望遠鏡の鏡筒と主鏡

北野高校には昭和校舎の時代から伝統的に天文台が備わっていたようです。先代望遠鏡の設立の頃を知る66期・初代地学部の方々にお話を伺いました。

◀昭和校舎屋上に最期まで鎮座していた赤道儀架台(望遠鏡の台座)

この9年間に色々な写真を六稜天文台で撮りました。天体現象は時期や天候に左右されます。考査中など生徒の都合もあり、思うようには撮れない時もありましたが頑張っています。



▲撮影 2007年5月26日

月は撮りやすそうな題材ですが、上の写真は20枚以上の部分写真をつなぎ合わせています。望遠鏡の焦点距離が5000ミリと非常に大きいので、像が一部分しか写らないからです。

惑星も撮影の対象です。淀川区十三の地にあっても綺麗に撮れます。最近では、例えばフリーソフト「RegiStax」に組み込まれている高度なデジタル処理によって、肉眼で見える以上の映像が得られます。



▲撮影 2008年7月26日

上の写真は六稜天文台で撮った10枚の木星写真を上記のソフトで処理して得た綺麗な映像です。2つの衛星も見えています。土星の環も同様の映像が期待できます。太陽のプロミネンスもH α フィルターを用いて撮影します。



望遠鏡のメンテナンス

設置されてから9年、整備らしい整備をしてこなかったのですが、今年7月9日、丸一日をかけて寄贈していただいた石川さんによって、大メンテナンスを実施していただきました。

今回は、駆動モーター、星導入システム一式をそっくり入れ替えるというものでした。地学研究部の生徒2名も休憩時間から放課後、周囲が暗くなるまで手伝ってくれました。夕方からは校長先生、教頭先生まで来ていただき、また今年度から、六稜天文台を中心にお手伝い下さっている大阪大学名誉教授の北橋忠宏さん(69期)も、まる1日お手伝いくださいました。

導入システム以上に大きな作業になったのが鏡の洗浄でした。9年間の塵埃を乗せて曇っていた鏡は、ピカピカに光るようになりました。



六稜天文台にご協力願える六稜生の方は、北野高校地学教室まで郵便あるいはメールにて、是非ご連絡ください(my8m-semt@asahi-net.or.jp)。

地学教室担当 吉田久昭、寿栄松正信(74期)

特集+表紙デザイン：谷 卓司(98期)

【次号予告】 現在、北野高校の部活動は、38団体が活発に活動しています。最近、創部された団体もありますが、残念ながら廃部となってしまった団体もあります。次号では『今はなきクラブ』の特集を予定しております。「わがクラブにスポットライトを!」という同窓生の皆様の情報を募集しております。

※廃部、休部中のクラブはwebで確認できます。

→ <http://www.rikuryo.or.jp/clubs/>

トピックス2

●第29回「岡山六稜会」総会および懇親会報告

足立 富郎 (82期)



第29回「岡山六稜会」総会および懇親会は平成24年7月7日(土)、メルパルク岡山(北区桑田町)において会員27名(男性20名・女性7名、当日1名欠席)および笹川事務局長にご来岡いただき開催しました。現在の「岡山六稜会」は本人の申出や高齢・遠方のため返信がない方を除いて65名に案内状を送付しております。男性42名・女性23名で、年齢構成は87歳を筆頭に今年4月に入学された方まで幅広く、70歳以上14名、60歳台18名、40～50歳台14名、19～30歳台19名となっています。初出席の方は4名でした。第23回～第28回まで出席され、今回欠席された方は、18名です。まず、大先輩の話があり、続いて初出席の方4名が自己紹介されました。その後、久しぶりに岡山→名古屋→岡山赴任で戻られた方、六稜同窓会で「論語かるた」の披露・講演をされた方々など近況や趣味をお話され、和やかにお互いの親睦を深め合いました。

さて、岡山は「晴れの国」です。温暖な気候に恵まれ、台風直撃や地震・津波などの自然災害がほとんどありません。しかし、今年の日本列島は冬に低温・大雪(ラ・ニーニャ現象)、4月に爆弾低気圧、5月に巨大積乱雲(スーパーセル)による強い雨・ひょう・竜巻・雷雨が頻発し、6月には台風が上陸しました。東日本大震災・福島原発事故以来、岡山へ移住された方も多いと聞いています。なでしこジャパン活躍、エリザベス英女王即位60周年祝賀や金環日食などうれしいニュースがある一方、6月26日には消費税を含む「税と社会保障の一体改革法案」が衆院本会議で可決され、いまや社会情勢は不安定・混とんの時代に突入しています。

岡山出身の岡崎嘉平太氏は日中国交回復・正常化(1972年)に尽力されましたが、その際に若い人へのメッセージとして「◎は縦糸、⊙は横糸、織りなせ人の世を」と謳われました。◎とは信頼・信用・信義を貫くこと、人を裏切らないことです。⊙

とは「人と人の絆」です。社会構造が激変している今だからこそ、「人と人の絆」が大切だと思います。岡山六稜会のメンバーは少数ですが、ここ岡山の地で一致団結して頑張っております。今後ともよろしく願いいたします。

●124期新人幹事歓迎会

FR委員会副委員長 東出 彩子 (118期)

3月31日、FR委員会主催で124期新人幹事歓迎会を行いました。今後124期の各クラスを引っ張っていく新人幹事16名と各委員会の委員長、FR委員が集まりました。最初に全員の簡単な自己紹介のあと、六稜同窓会の様々な活動について紹介しました。高校を卒業したばかりの幹事たちは、同窓会が様々な活動をしていることに驚いたようでした。これからは同期という横のつながりだけでなく期を超えた縦のつながりを通して、北野高校全体を共に盛り上げていければと思います。124期のメンバーからも「同期との繋がりを大切に124期を盛り上げていきます」という頼もしい挨拶があったことが印象的でした。

同窓会の説明の後は、いくつかのテーブルに分かれて軽食をとりながら、これからの新生活への相談や高校時代の懐かしい話など様々な話をしました。北野生共通の話題、水泳や縄跳び、体育大会での思い出は代々語り継がれる思い出話のようです。どのテーブルでも先輩と後輩という垣根を越えて、北野高校卒業生としての交流の場になったのではないかと思います。

FR委員会は今年から新体制に変わり、ますます若手の同窓会活動を盛り上げていきたいと考えています。今回、新人幹事に対してFR委員会の活動についても紹介しました。若手の卒業生を中心に同窓会の活動をしていることを初めて知って驚かれた方も多かったようです。秋に行う就職活動支援イベントや若手卒業生の交流会など、様々なイベントを今後も企画していきます。ぜひ多くの卒業生に関わっていただけるような機会を提供させていただきたいと思います。また、FR委員会のメンバーもまだまだ募集しています。イベントの企画をしてみたい方はぜひFR委員会(fresh@rikuryo.or.jp)までご連絡ください。



Party Reports

●卒業70周年記念55期生の集い

藤田 晴 (55期)

卒業70周年にあたる平成24年の55期同窓会は、5月17日午後4時からホテルグランヴィア大阪にて開催されました。寄る年波には勝てず年々出席者が減ってきましたが、それでも23名が参加しました。うち2名は藤井博君と千葉寛君の同伴者です。



記念撮影の後、会は平谷吉高君の司会で始まり、まず過去一年間に亡くなられた11名の友を悼んで黙祷しました。物故者の中には、出席の返事を出した後で急逝した松下健辰君も含まれます。つぎに榊田果知郎君に卓話をお願いしましたが、話題はやはり福島原発のメルトダウンのことでした。続いて中村隆君の音頭で乾杯し、再会を喜びとともに、いっそうの長命を祈念しました。

今回は卒業70周年記念として、全員が一言話すことにしましたので、いろいろな話題で盛り上がりました。まず高齢者にとって切実な生死の問題については、明治維新史を研究してきた松代英二郎君が、「一番大事なのは、最後までやる気を失わず立派に死ぬことだ」と発言しました。他方ドクターとして活躍してきた木戸友三郎君は「いい奴は早く死ぬ。もう年なんだから、悪いことをして来年も元気で集まろう」と皆を笑わせました。

社会活動や趣味の領域の話も賑やかでした。前田亨夫君は老人クラブの会長の仕事が生き甲斐のようであり、戸根住夫君はまだ現役の弁護士だと自慢していました。林真一君は運動も兼ねて写生を続けており、木田幸雄君は自転車での日本列島一周に挑戦したとのこと。北野時代の思い出については、大峰登山のこと、ラグビー部のこと、戦艦大和で戦死した白木君のことなど、さまざまの発言がありましたが、紙面の制約上紹介できないのが残念です。

同期会のフィナーレは例年どおり校歌斉唱、西川武平君のリードは元気一杯でした。閉会の辞は

世話人代表の和田喜久雄君、今年も面倒な会合の実務を引き受けて呉れたのは小谷恒之君でした。同期生の大半は来年卒寿を迎えますので、一年後の再会を楽しみにしています。

●平成24年度60期同窓会の報告

大西 啓隆 (60期)

風薫る5月9日(水)ウエスティンホテル大阪「沙羅」の間で開催された。我々60期生にとって今年は入学70年・卒業65年の記念すべき年である。卒業時300有余名を数えた同期生も、この間、黄泉の国に旅立った者138名、消息不明者21名、と生存者はほぼ半減した。当日の出席者は45名・同伴者8名で合計53名、年齢から見て、まあ多い方かと思われる。今回は遠路はるばる関東地区から菊仲将雄、今永恭四郎両君の久しぶりの参加をえて一層総会に華をそえた。

総会は正午丁度に学年理事の和田慎三君の開会の辞に始まり、ついで遠路参加された菊仲君から東京地区の同期会(三木会)の様子と報告と乾杯、大西の庶務報告・配布資料説明の後、食事・団樂が始まった。



我々が入学したのは太平洋戦争開始後4ヶ月、戦果に湧く昭和17年4月、希望に燃え文字通り憧れの「六稜の星のしるし」を額にかざして入学式(残念乍ら我々のときからは黒い学帽・白い海軍式の脚絆でなく、国防色の戦闘帽に巻き脚絆)。感激に浸る間もなく「ぼうず」「ポンプ」「こまっちゃん」「馬さん」「ピンタ」…など個性あふれる先生方の楽しくも厳しい授業、また「まんとか」の一風変わった教練などが始まった。やがて戦争の激化と共に、服部農場の開墾・作業・収穫。勤労奉仕で大阪市内国道での防空壕造り。さらに度々授業は中断され、勤労働員は長期化・固定化し…ある者は大阪鉄道局用品庫へ、またある者は大阪陸軍兵器補給廠、発動機製造所などへと。その後、さらに戦況不利に伴い、本土決戦に備えて和歌山陣地構築…夜間に山の穴掘り。蚤に悩まされた宿舎(寺や農家)、宿舎一現場往復の途中で遭遇した機銃掃射の恐ろしさなどなど。

やっと戦争が終わり、やれやれと思った途端に始まった英語教育、それは英文毎日の社説をワラ半紙にガリ版ずりしたものが教科書であった（英語の教科書は戦時中に廃棄されたため）。

このような貴重な初期青春時代の楽しくも厳しく、苦しかった数々の思い出が、尽きるともなく語り合わせ、会合は大いに盛り上がった。そして予定の2時間があっという間に過ぎてしまった。やがて川井茂夫君の誘導による「六稜の星のしるし」の斉唱に次いで、明年度幹事の太田元治君挨拶の後、明年5月の再会を約して幕を閉じ、三々五々会場を後にした。

因みに60期の会は毎年開催され、各年度幹事は交代制、手元の資料によれば昭和53（1978）年以前から始まっており、当初は夕刻に、21世紀に入って（古希を過ぎて）からは正午開催となっている。すなわち実に35年以上の長きわたり絶えることなく続いているのは一驚に値するのではないか。

これはまた別に、年数回の有志による「歩こう会」（近況は本会報58号参照）、さらに20数名の有志による「二水会」が長年にわたり毎月継続して行われており、北野中学校時代の5年間に培われた友情は、65年を経た今もなお強固な絆で結ばれているといえる。今後もこの絆を大切に、ますます元気で、いつまでも続けたいものである。[追記] 当日配布の記念品（手拭）は少々残部あり、希望の向きは、本年度幹事まで。（送料込¥500-）。（平成24年度幹事：和田慎三 大西啓隆 渋川攝也）

●63期傘寿同窓会報告

阪田喜秋（63期）

日時：2012年4月7日（土）
会場：ホテルグランヴィア大阪
出席者：69名（内、女子23名、大手前移籍者5名）
川口孝義君の司会、物故者への黙祷、松園勢津枝さんリードによる校歌斉唱、坂内精次君の会計報告、阪田挨拶に続き大手前代表の新酒 武君の恒例の乾杯の音戸で宴は始まった。

当期は、原則、毎年4月第一土曜に同窓会を持ちセンバツ野球大会の時期と重なり、我々高校3年間、昭和23～25年、母校の連続出場、しかも出場選手に多くの同期生が見え、24年第21回大会優勝、25年は前年度優勝校、先頭入場行進の晴れ舞台に熱狂した思い出に花が咲く。今回、多湖隆司投手、竹内寿一左翼手、三島幸次朗マネ



ジャーの諸君が参加され多湖君に傘寿記念の中締めをお願いした。

ラグビー部、比山實二君、瀬川英男君、バスケット部、正岡 徹君、櫻井俊子さん、堀千恵子さん、水泳部、畠中邦雄君、サッカー部、富岡迅夫君、演劇部、徳永行平君、等、も夫々の話題に没頭された。

昭和20年4月、空襲等の非常事態の特例で中学校、女学校受験者全員無試験入学、敗戦後の制度改革で大手前との生徒交換、北野高校へのスライド進級？（又も無試験入学）、結局、男子は無試験で北野に6年間在籍、男女共学当初の“とまどいフォークダンス”等、希有な体験に話が弾み、あっという間にノーサイド、来年4月6日（土）、同じ会場で再開を約し川口君の閉会挨拶で解散。



最後に、企画等にご尽力戴いた、青木庸子さん、阿山勝彦君、浦西正雄君、津田 治君、山下永子さんに感謝します。

●六稜六四会最後の総会

今井滋郎（64期）

6月10日（日）天候に恵まれた六稜会館で六稜六四会の卒業60周年記念総会が開かれた。

当日集まり始めた諸君は関西の他、東京岡山九州からの計112人、まず地下展示室を見学後、13時半から3階ホールに集まり、川島弘君（今も現役シャンソン歌手）の司会で総会が始まった。はじめに物故者122名への黙祷。

長年、会長を務めて2年前に逝去した川本晴男君の後を継いだ足立一郎会長の総会挨拶に続き、楠野校長から母校の現況報告をいただいた。校長先生の生誕年1952年春に私たちは母校を巣立っている。

正面スクリーンに投影される津田信昭君制作のビデオのプログラムに沿って会が進められ、記念撮影のあと懇親の部に入る。懇親会の間も写る思い出写真やビデオをチラチラ横目にグラスと食事とお喋りが続く。

卒業10周年（第一生命ビル）、20周年（北野高校）、



その後3、5年間隔、50周年記念総会から3回を経た今年の卒業60周年記念総会をもって六四会総会は最終となった。昔の暦で言えばみんな傘寿だ。

この60年はみんなそれぞれ別々の人生を歩んできたが、振り返るとすればそれに先立つ入学からの6年間であろう。

北中入試の面接で印象に残るのは、一人ずつ待機したあの長い廊下で、そのコンセプトは新校舎にも引き継がれている。

終戦翌年春、北中（北野中学）入学。50人6組で3百人。制帽の白線に六稜の徽章。電車に乗っても北中生は凛々しくキリッとしてると親戚から云われた。

校歌に「…星のしるしを、青春の額にかざし…」とあるが、今どこにその姿が見られるのか。入学して上級生から受けた校歌指導では「紅顔の子弟いく百、日に通う北野ちゅうが」と中学を詰めて歌うように教わった。

十三駅からは瓦礫の合間を縫いながら通学し、数学の教科書はA5サイズに折りたたまれた全紙判を自分で裁断して糸で縫いつけた。ホチキスはまだない。

翌年学制改革で新制中学が出来、私たちは旧制最後の中学生となった。

1年の担任は数学の江副先生で2年生でも担任だったが、夏休みが終わって登校したら先生の姿はなく、後任は新米の石田千代之輔先生だった。なぜか白衣を着て授業に臨み、一言話す毎に上を向いて「あ〜」と云うので「アーコ」とあだ名が付いた。因みに江副先生は、かつて政界を揺るがしたリクルート社創業者のご尊父だった。

1948年男女共学となり、淀川以南の友は大手前へ。代わって大手前高女からは才媛がどってやってくるトイレはドット混む。野球で北野を優勝に導いた多胡投手は淀川以南だったが北野に残された。大手前には野球部がなかった。

大手前に移籍した男子生徒達は集まるといつも北野の話をしていただけで、北野に来た才媛達には大手前を懐かしむそぶりは全く見られなかった。

1949年北野高校併設中学を卒業してそのまま新制高校にスライド。生徒数は8組で4百人余になった。翌春、新制中学卒を迎えてやっと上級生になったが、それまでの4年間は最下級生。

美術部員の写生モチーフは十三公園と手前の焼け跡で、6年目の秋になっても残る瓦礫の間に三脚を立てて描いていた。

教師陣はバラティエーに富んでいた。

生物を教わった岩田久二雄先生は、昆虫学の泰斗で兵庫農大（現神戸大）教授に。「福島定理」もある数学の福島豊先生は、新設の福井大学数学教授に。

昭和27年に阪大に入ったら、北野で習った先生が4人もおられ、その講義も受けた。

高校の地学授業で岩石採集に甲山へ連れて行ってもらった小泉光恵先生（旧姓失念）、英語の小松昌先生、統計の大澤先生、社会の増田毅先生からは政治学。

今で云う中高一貫校の6年間に大学教授レベルの先生方の授業を受けていたことになる。

北野中学校長から大阪府初代教育長に転出された浜田成政先生の口癖は「反省無くして進歩なし」だった。復員し「スマトラ帰りの名馬」と渾名された生物の佐賀真一先生は30年間おられ、私達が生まれた年に北中に赴任し33年間を北野で過ごされた美術の岡島吉郎先生など、今では考えられない主のような名物先生が沢山おられた。

さて、懇親会も佳境に入り、中国に帰った段元培君からのメッセージと添付の漢詩、それを訓読し解説してくれた小松美博君の返礼の自作詩の披露。ショートスピーチでは槌田敦君の北野放校となった経緯と原発の問題点指摘があり、大谷遷君指揮の校歌斉唱をもって閉会となった。

総会は終了したが、六四会そのものは存続し幹事会も休眠しながらも残留。他学年のようにクラス持ち回りではなく、交代しながらも14人の固定幹事会として運営してきたが、初期から一貫して黒子として事務局役を引き受けてくれた岩田江一君の陰のはたらきは感謝にたえない。

楠野校長のお話にもあったように進学指導特色校制、段階的学区撤廃など府立高校の活性化策によって、北野高校への志願者数が増えつづけ、上で振り返った終戦直後の北中のように北野高校は受験生たちの憧れの的になってきたようだ。

いろいろの歴史と精神を背に、わが北野高校は来年創立140周年に向けて歩を進めている。

●65期会 同期会

川西 恭子 (65期)

65期にはお天気おばさんが何人もいるのだろうか…全国的に各地で水害が起こっているというこの梅雨のさなか 6月23日、梅雨の晴れ間というには勿体ないような快晴、ホテル阪急インターナショナル(大阪)にて65会総会が開催された。

恩師山崎馨、関谷全両先生のご出席を得て総出席者130名、東西各地からこの日を待ちかねて集まった懐かしの顔ぶれです。

65期といえば昭和28年卒、齢でいえば?歳、この歳になってもよく集まるものだと自身で感心しながらも、また不思議なことに毎年出席者が増えている。

65期といえば同窓会年会費納入者率トップ、いや、少々むかし、会館建設募金者率もトップでありました。このよう結束力の強さが期会合への出席者数を維持しているのだと思う。

さて、この総会幕開けはアルベルト田中さんのピアノでのウエルカム演奏、つづいてご存じ北岡樹(80期・北方志津子)さんの歌でと華やかな演出がすごい。さすが樹さんは見事にこの年代の心をつかむ歌を選曲しており、多くの出席者は感激で目がウルル。樹さんありがとう。

宴会は校歌斉唱で盛り上がり、集合記念写真ののち例年通りの二次会がホテル内別室で開かれたが、この二次会に半数以上が出席、まだ余韻が冷めずに歓談が続いた。

さて来年は六稜同窓会創立140周年、われわれ65会も卒業60周年という大きな節目であり盛大な記念総会を祝うべく、来年度の世話人一同はずでに走っている。

65期会 卒業60周年記念総会

日程：平成25年6月5日(火)

会場：ホテルニューオータニ大阪

●讃山会150回記念旅行「淡路島」へ

高田 早智子 (70期)

平成24年3月31日午前9時半過ぎ、私達32名を乗せた観光バスとワゴン車は三宮を出発した。行き先は淡路島南端部である。

讃山会は六稜会報58号で安場耕一郎氏が紹介されているように、70期の山歩き会である。1999年、70期生が還暦を迎えたのを機に始まったものであるが、以来毎月1回の山歩き、タウンウォッチングを重ねて、2011年11月、150回に



達した。今回はその記念旅行で、行程は、3月31日、4月1日の2日間である。

1日目は雨の中「奇跡の星の植物館」「うず潮観潮」「人形浄瑠璃」をそれぞれ見物、観賞後に「休暇村南淡路」へ入った。残念ながら、うず潮見物は当日の雨による海面の荒れのため、観潮はかなわなかった。感動したのは人形浄瑠璃であった。淡路島の人形浄瑠璃は有名であるが、私はまったく初めての観賞であり、伝統芸能の奥深さをしっかり感じさせてくれた。「休暇村南淡路」では夕陽見物が印象的だった。

ゆったりと輝きながら沈む夕陽を眺めていると、日常の忙しい時間がすっかりこの夕陽に溶け込み、私の心を穏やかに和ませてくれるのを感じた。

宴会では、オカリナ、ウクレレの演奏、トランプの手品、独唱、漫才もどきの語りに、さすが北野ならではの多才ぶりを見せてもらい、身も心も満腹して宴会後のカラオケルームへ向かった。

2日目は待望の好天に恵まれ、大鳴門橋を散策、前日と打って変わった穏やかな海面を眺めて、観潮をできなかったことが惜しまれた。福良の町はこの日春祭りで、御輿とだんじり、多くの人出で賑わっていた。私達もしばし神輿の後について歩き童心に還った。その後魚料理「万代」にて、淡路島の新鮮な魚料理の昼食をとる。午後に登山を控えるみなさんはビールを制限している様子であり、さぞかしこれが夕食だったら…と恨めしく思われたことだろう。昼食後いよいよ登山で、登山組24名はバスで淡路富士と称される先山登山口へ向かった。登りは少々きつかったようであるが皆さん元気に到着。頂上近くの千光寺で全員落ち合ってバスで下山、菜の花が咲き乱れる「淡路花さじき」へ。その後一路三宮へと帰路につく。ところが到着後「反省会は？」ということになり、急遽例月の通り「反省会」と称する「飲み会」を開くことになった。そしていつまでも別れたくないような幸せな気分浸っていた。

●71期平成24年懇話会開催

野口 威 (71期)

71期では下記会場で、同期会である「平成24



年懇話会」を開催しました。

日時：平成24年5月20日（日）12：00から

場所：大阪北浜証券取引所向かい、イタリアンレストラン（スカララ）

71期の懇話会は、3クラスが合同で、持ち回りで開催しているが、今年の担当は7,8,9組。

会場の定員50名に対し45名の参加で、やや狭い感があったが、和気あいあいと開催出来ました。

7組の幹事（奥嶋 保さん）の司会で、今年のコメンテーターは、我が六稜同窓会の会長でもある7組の（山本 雅弘さん）。『古希すぎ、あれこれ（身边雑話）』と題して、身の回りに起こる、また、日常各自が感じているような内容について、話していただきました。8組の幹事（野口 威）の発声で乾杯後、食事とワインを楽しみ、飛び入りで、カンツオーネ、その他の歌を楽しみ、テーブル毎の写真を撮影しました。

2時間の食事終了後、全員が一つの壁面に集合し、記念写真の撮影を強行し、9組の幹事（南里 貫太郎さん）の閉会の挨拶で懇話会は終了。

終了後はレストラン近くの中之島バラ園が丁度満開を迎えており、天候にも恵まれ、バラ園の散策を楽しみました。

●75期 第6回学年同窓会 実施報告

瀬戸川 葆（75期）

日 時：2012年3月10日（土曜日）

一次会 12：00～15：00

二次会 15：30～17：30

場 所：一次会 徐園（肥後橋）

二次会 中央電気倶楽部（堂島）

出席者：一次会 福田 博造 先生 同窓生71名

二次会 同窓生54名

最初は、小生の司会進行で始まりました。同窓生の出席状況を報告し、前回から新たに世界された方々の御冥福を出席者全員で黙祷によりお祈りしました。福田 博造 先生の近況報告、次期学年理事の旧3年2組の中野 雅博さん、旧3年4組の松岡 直子さんの紹介、3グループに分けての

記念写真の撮影の後、旧3年6組の斉藤 明さんのユーモラスな話に続き、乾杯の音頭を取っていただき、一次会の和やかな懇親会が始まりました。次いで、懇親会の途中で、卒業50周年記念文集発行の趣旨を旧3年5組の山下 玲子さんから説明をしていただき、もっと投稿してほしい旨のお願いがありました。次いで、旧3年6組の黒岩 映一さんから東京六稜会75期の活動報告をしていただきました。小生の司会進行にはなかった、飛び入りの二人の、旧3年2組の嶋田 高光さん、旧3年7組の雫石 潔さんからの元気澁刺な近況報告もあり、大いに盛り上がりました。一次会の最後は恒例の北野校歌の斉唱でした。閉会の挨拶は次期学年理事の中野 雅博さんにしていただき、無事に終わりました。二次会は徐園から徒歩10分足らずの場所、中央電気倶楽部で行いました。外壁がタイル張りの築81年の建物で内部の天井が高く、レトロな雰囲気があるものですから、同窓生の女性の皆さんから好評でした。前回の第5回から4年4ヶ月経ているものですから、お互いの近況の話は尽きず、あっと言う間に時間が過ぎ、楽しい一日となりました。同窓会の後、同窓生の多くの方々から、感謝の手紙や電話をいただき、幹事冥利につきる気持ちでいっぱいであります。なお、記念写真につきましては3枚になりますので、六稜ウェブの75期のページに掲載しました。そちらをご覧ください。



同期会予告

●66期同期有志会

日 時：平成24年10月22日（月）11：30～

場 所：ポンテ ベッキオ 梅田店
大阪市北区梅田3-3-20
明治安田生命大阪梅田ビル30F

T E L：06-4795-8888

今年は「喜寿」を皆で祝おうと計画していますので、有志会に入っておられなくても参加希望者は連絡下さい。9月20日過ぎに再度ご案内いたします。

連絡先：水野 瑛子

TEL/FAX：0727-70-2129

●70期同窓会

日 時：平成24年11月3日（土）13時より

場 所：ヒルトン大阪
〒530-0001
大阪市北区梅田1丁目8番8号

T E L：06-6347-7111 代表

F A X：06-6347-7001 代表

連絡先：屋良卍佐治

箕面市西宿3-8-10

電話&ファックス：072-728-1738

e-mail：toyoshin@ia0.itkeeper.ne.jp

卓話は、同期の大西堂文君による「獣医学から見たペットとのつき合い方」（仮題）

座興に、寸劇（仮題）「お隣の同窓会」（7・8組幹事団制作）を予定しています。

二次会は、ご存じの（キング・オブ・キングス）で。幹事一同準備に励んでいます。本年も多くの皆様のご出席を心よりお待ちしております。

●74期同窓会

卒業50年記念「みなわ会」ご案内

北野高校を卒業してからあつという間に50年が過ぎようとしています。今年の「みなわ会」は下記のごとく記念の同期会を開きたいと思います。

平成24年11月17日（土）

13：30～座談会「私たちの歩んだ50年」（仮称）

内容：話題提供者に話題を提供していただき、それについて出席者から質問、意見等を出していただき、みんなで議論をする。8人程度を予定。

展示：10名程度の方々からの出展で、絵画、書籍、俳句などを展示。以上いずれも六稜会館三階にて

17：30～総会・懇親会 プラザオーサカにて

会費：1万円を予定

平成24年11月18日（日）

50年目の奈良ハイキング

集合・解散の場所および時間：

近鉄西大寺駅 10時集合 近鉄奈良駅 17時解散

遠方の方で宿泊をご希望の方は、北野高校の近くのホテルプラザオーサカを予約する予定です。

母校の窓 国際交流

●北野からケントへ

今年は3月21日から4月2日まで、125期生の男子3名女子2名と付添教員2名（途中で交替）が主にKENTWOOD高校を訪問しました。報告集からは、派遣団の生徒たちがビーチに連れて行ってもらったり（写真1）、登校最終日に和食レストランで昼食会を催してもらったり（写真2）と、心に残る体験を存分に楽しんだ様子でした。



写真1



写真2 レストランの駐車場で

●ケントから北野へ

今年はケントウッド、ケントレイク各校から男女各1名（計4名）の生徒と教員1名が来日しました。7月17日から北野に登校。昼休みに体育館で全校生徒に紹介された後、いろいろな授業に参加しました。北野滞在最終日の20日放課後に六稜ホールで行われたfarewell partyでは、最後にお菓子とジュースで歓談。お互いに写真を撮りあうなど、なごやかな様子でした。



写真3

文責：出口 写真：国際交流委員会・出口

平成24年度大学合格者・就職者数一覧

国立大学	
北海道大学	4
筑波大学	1
千葉大学	2
東京大学	3
一橋大学	1
金沢大学	1
福井大学	1
三重大学	1
滋賀大学	1
滋賀医科大学	3
京都大学	55
京都教育大学	3
京都工芸繊維大学	4
大阪大学	55
大阪教育大学	9
神戸大学	28
奈良女子大学	4
鳥取大学	2
広島大学	2
徳島大学	2
香川大学	2
九州大学	4
長崎大学	1
大分大学	1
鹿児島大学	2
琉球大学	1
合 計	193

公立大学	
静岡文化芸術大学	1
名古屋市立大学	1
滋賀県立大学	1
京都府立大学	1
京都府立医科大学	1
大阪市立大学	11
大阪府立大学	12
兵庫県立大学	7
奈良県立医科大学	1
和歌山県立医科大学	3
岡山県立大学	2
九州歯科大学	1
合 計	42

私立大学 (合格者は延べ人数)	
慶応義塾大学	11
中央大学	13
東京理科大学	15
明治大学	6
早稲田大学	25
京都女子大学	7
京都薬科大学	15
同志社大学	165
同志社女子大学	9
立命館大学	125
龍谷大学	4
大阪医科大学	12
大阪薬科大学	19
関西大学	57
近畿大学	23
関西学院大学	84
甲南大学	7
神戸薬科大学	7
武庫川女子大学	1
その他の私立大学	64
合 計	669

種別合計	
国立大学	193
公立大学	42
私立大学	669
準大学等	1
専修学校等	0
就 職	0
合 計	905

教職員異動

(2012年4月現在、敬称略)

・退職

- 教 諭 (再任用) 国語 山形 徹
 今年度は非常勤講師として本校に勤務
- 教 諭 (再任用) 社会 的井 洋二
 今年度は非常勤講師として本校に勤務
- 教 諭 社会 高橋 昌弘
 再任用教諭として引き続き本校に勤務
- 教 諭 数学 三橋 賢市
 大阪成蹊女子高等学校へ
- 教 諭 理科 竹尾 真
 金蘭千里高等学校へ
- 教 諭 体育 石川 満
- 教 諭 体育 上田 重隆
- 教 諭 (再任用) 英語 葛山 景
 雲雀丘学園高等学校へ

・転出

- 教 諭 数学 田邊 史人
 茨木西高等学校へ
- 主 査 吉田 悦子
 池田北高等学校へ

・新着任

- 教 諭 国語 本城 華乃子
 阿武野高等学校より
- 教 諭 社会 黒田 昭二
 泉陽高等学校より
- 教 諭 数学 村上 明日香
 新任
- 教 諭 理科 宮町 修太郎
 新任
- 教 諭 体育 人見 周太
 柏原東高等学校より
- 教 諭 体育 小谷内 和宏 (118期)
 新任
- 教諭(再任用) 英語 吉田 要
 槻の木高等学校より
- 主 査 井ノ本 勝巳
 豊中高等学校より
- 常勤講師 国語 能登 敦子
 本校非常勤講師より
- 常勤講師 数学 小柳 忠弘

おくやみ

昨年10月15日に石田千代之輔先生(数学 S22~38)
 12月19日に村上寛先生(数学 S26~40)がご逝去さ
 れました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

平成24年度新役員

名誉会長（校長）	楠野 宣孝	
会 長	山本 雅弘	(71期)
副 会 長	志甫 溥	(66期)
//	上田成之助	(80期)
常任理事		
総務委員長	徳岡 浩二	(92期)
財務委員長	藤田 秀昭	(62期)
会館催事委員長	田中 浩作	(71期)
名簿委員長	和田 芳郎	(80期)
広報委員長	千種 康一	(88期)
FR委員長	上松 誠	(112期)
学内	出口 学	(94期)
東京	松本 邦宏	(70期)
事務局長	笹川 忠士	(74期)
監 事	北浦 康弘	(71期)
//	鈴木 基史	(80期)
顧 問	大山 利雄	(56期)
//	鎌田 俊一	(81期)
名誉顧問	稲畑 勝雄	(56期)

新常任理事ご挨拶

総務委員長 徳岡浩二 (92期)

今回、会長より総務委員長に任せられました92期の徳岡浩二です。催事委員会委員長からの転任ですから「はじめまして」という感じではありません。人材豊富な六稜同窓会なので「是非、新たな人材登用を」とお願いしましたが、140周年記念事業を真近に控えての緊急登板になりました。総務委員長は常任理事会・理事会の運営、総会の統括、同窓会会則の見直し検討など重責を担う役職です。事務局の皆さんと協力して期待に添えるよう頑張りたいと思います。会長方針の「寄ってたかって同窓会」を実現すべく、これまで先輩方の「六稜魂」と母校への思いを引き継いでいき、必要に応じて改革しながら盛り上げていければと考えております。そのためには若い会員の積極的な参加が不可欠であり、時代に合った様々な企画が求められるでしょう。また近年の傾向として50歳の総会運営担当を経た期の参加意識の低下がとても気になります。「50になったら同窓会」への本格的な参画が、ピリオドになってしまわないよう皆さんのお知恵をお寄せ下さい。

会館催事委員長 田中浩作 (71期)

会館催事委員会の主な活動は、原則として毎月第一土曜日に開催する六稜トークリレーと六稜会館の地下に設置されているギャラリーの運営です。

六稜トークリレーは、社会の第一線で活躍する同窓生を招請し、興味深い専門的な話の他に同窓会ならではの北野時代の思い出や専門分野での裏話など面白い講演をして頂いています。また参加者の世代間の交流も行われ有意義な場となっていますが、惜しむらくは若手世代の参加者が少ない事です。今後一層努力して多数の同窓生に参加して頂けるよう頑張りたいと思っています。

地下ギャラリーは、佐伯祐三（30期）手塚治虫（59期）を始め多数の同窓生の作品や資料が展示されています。現在では湿度・温度管理も完備され多くの方々に見学して頂ける態勢が整っています。

私も六年間の会館催事委員としての経験を生かし他の会館催事委員全員と一体になって一人でも多くの方々が六稜会館にお越し頂ける様に努力をして参りますので、ご協力、ご支援のほどよろしくお願いたします。

FR委員長 上松 誠 (112期)

このたび、FR委員会で委員長を引き継ぎました上松です。前任の田村さんから約10年若返ったことになり、委員一同、同窓会の中でも特に若い委員会となりました。

これまでFR委員会では、就職活動生向けに「就活相談所」、若手六稜生向けに「若手交流会」などを行ってまいりました。おかげさまで両イベントともに、多くの方に参加いただくことができるようになり、定着し始めています。

ただし、若手の六稜生は先輩方と比べると同窓会関連のイベントにはあまり参加されていない場合も多いのが現状です。六稜生は国内外を問わず、様々な業界で活躍されていますので、そのつながりをもっと活用できるような取り組みを行っていきたく考えています。

これからも若手ならではの視点で活動していきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

140周年六稜同窓会名簿の発行とお願い

名簿委員会

(平成25年10月発刊予定)

創立140周年記念事業の一環として六稜同窓会名簿を発行します。

1. 行方不明者の調査のお願い

精度の高い名簿を作成するため、できる限り行方不明者の方々を減らすよう会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

2. 名簿予約のお願い

名簿の発行に先立って予約を受け付けさせていただきます。名簿の販売価格は一冊5,000円ですが、事前予約の方に限り一冊4,000円で販売させていただきます。本会報同封の払込用紙で平成25年3月31日までに御振込み下さい。ご入金金を以て予約受付させていただきます。

3. 広告のお願い

名簿への広告を募集させていただきます。広告料は下記の通りです奮ってご応募ください。

広告料	(円)
1 ページ	100,000
1 / 2 ページ	50,000
1 / 3 ページ	35,000
1 / 4 ページ	25,000
名刺公告	10,000

申込は六稜同窓会事務局迄

事務局だより

理事会報告

■平成24年6月23日開催

- 新年度役員として、総務委員長に徳岡浩二さん（92期）、会館催事委員長に田中浩作さん（71期）、FR委員長に上松誠さん（112期）の就任と笹川事務局長の総務委員長の兼務を解き、引き続き常任理事として任することを承認
 - 平成23年度決算を承認
 - 故阿部俊一先生の墨蹟碑を在校生へのメッセージとして建立する事を、同窓会として学校側に願う事を決議
 - 六稜同窓会会則改正の修正案を討議した
 - 139周年総会後の懇親会にアルコール飲料を提供するか否かの討議をしたが、従来通りで進めることになった
 - 140周年記念名簿制作の進捗状況の報告
 - トークリレー日程報告、9月度は100回記念となる
 - 会報59号（9月1日発行）の編集状況報告及び六稜WEBの現況報告
 - FR委員会より、昨年の就活相談所&若手交流会の報告と今年度活動予定の説明
 - 東京六稜会より総会・東京六稜倶楽部及び阿部先生墨蹟碑の報告及び提案
 - 学内理事より、140周年総会準備状況の報告
 - 事務局より、六稜会館の屋根に太陽光発電設備を設置する件についての現状報告
- 理事会終了後、名簿委員会と広報委員会を開催（16:00～17:00）

■平成24年2月18日開催

- 平成24年度予算を承認
 - 会費5年間未納者に会報を送らないというルールは一定の効果を挙げたが、140周年記念行事に向けて会費納入率のアップと不明者の発掘に傾注するため、来期より見直すこととなった
 - 学内理事の複数委員会への委員委嘱が承認されたことが報告
 - 140周年記念名簿の準備状況と会員データ収集に学内理事の協力要請があった
 - トークリレー日程報告、9月度は100回記念となる
 - 会報58号（3月1日発行）の報告及び六稜WEBの現況報告
 - FR委員会より、11月の就活相談所、FR交流会の報告と次年度活動予定の説明
 - 東京六稜会より1月開催常任幹事会の報告
 - 学内理事より、140周年総会準備状況の報告
 - 新たに制定された“六稜文庫運用規程及び細則”の報告
 - 六稜会館の屋根に太陽電池を設置する提案を検討
 - 138周年総会懇親会で節約した50,000円を東日本大震災支援金として日本赤十字社に寄付をした
 - 事務局報告
- 理事会終了後、総務委員会○名簿委員会○広報委員会を開催（16:00～17:00）

年会費納入のお願い

納入が未だの方は、この会報に同封のゆうちょ銀行かコンビニの用紙を選択して、納入していただきますようお願いいたします。

銀行振込は下記講座にお願い致します。

三井住友銀行・十三支店
普通1077672 六稜同窓会

銀行振込に際しては、必ず会員番号・氏名の順で記入してください。振込費用は各自ご負担でお願いします。

139周年総会担当幹事期・92期の皆様より、ビデオカメラと三脚を寄贈いただきました。



オレオレ詐欺の注意喚起

下記大阪府警よりの「オレオレ詐欺に対する注意喚起について」の手紙が大阪府教育委員会を通じて、学校に連絡がありました。特に北野高校OBの家族が、多くの詐欺被害にあっているとのことでした。

会員の皆さま及びご家族におかれましては、充分お気を付けて頂きます様、お願い申し上げます。

「オレオレ詐欺に対する注意喚起について（抜粋）」

本年3月に入り、大阪府立高等学校の卒業生宅に対して、「風邪をひいて喉の調子がおかしい」「携帯電話が壊れたので、新しい携帯電話に変えた」「会社のお金を使い込んだので、現金を振り込んで欲しい」「不倫相手が妊娠したので、相手の夫に示談金を払わなければいけない」等の息子を騙るオレオレ詐欺と思料される不審電話が架かってきており、現金を振り込んだ既遂事件も発生しています。

大阪府立高等学校卒業生の同窓会名簿、卒業名簿などが犯行に使用されている可能性があり、府警としてもこの種の事案の被害防止のため、対策の強化に努めておりますが、貴台におかれましては、この種事案の未然防止を図るため、大阪府立高等学校卒業生に対する注意喚起をして頂きますようお願い申し上げます。

東日本大震災支援金継続について

ご趣旨賛同の方は、下記の口座にお振込み頂きますようお願い申し上げます。

なおお預りした支援金は日本赤十字社に義援金として収めます。

六稜同窓会受付銀行：りそな銀行 梅田支店

口座番号：0211594

口座名義：六稜同窓会事務局 事務局長 笹川忠士

（なお本寄付は寄付金控除の対象となりませんので予めご了承ください）

お悔やみ

2011年9月以降、2012年6月までにご連絡頂きました方々をご卒業期順、およびご逝去日順に掲載しております。(他に掲載辞退の方もいらっしゃいます) 謹んでお知らせ致します。なお、本欄に誤りのある場合は、事務局までお知らせ下さい。次号で訂正させて頂きます。(敬称略)。

41期	北橋 忠男	平成23年12月15日
45期	中島 英男	平成24年4月4日
47期	有坂 三郎	平成24年2月20日
50期	清水 道之助	平成23年9月24日
	茨木 赳	平成23年12月3日
	藤村 智一	平成23年12月20日
	久富 秀雄	平成24年1月22日
51期	常俊 章	平成24年6月16日
53期	小菅 宇八郎	平成24年1月21日
	三好 益太郎	平成24年3月25日
54期	八木 茂	平成23年12月3日
	堀江 治	平成24年4月17日
55期	北尾 直三	平成23年11月12日
	松田 久	平成23年11月13日
	青木 孝頼	平成23年11月20日
	宮崎 亨	平成23年11月25日
	新居 脩助	平成23年12月
	太田 邦男	平成24年1月22日
	熊澤 安正	平成24年4月12日
	松下 健辰	平成24年5月14日
56期	田中 新二	平成23年12月6日
	中原 輝雄	平成24年3月29日
57期	生野 斌	平成23年9月25日
58期	太田 昭	平成24年2月2日
	大脇 正春	平成24年3月4日
	森田 穰二	平成24年6月9日
59期	飯田 富久	平成24年2月11日
	榑崎 浩二	平成24年4月2日
60期	吉川 喬	平成23年10月10日

	野原 英雄	平成24年1月16日
	吉矢 友彦	平成24年1月24日
	池田 萬助	平成24年6月12日
61期	岩崎 守男	平成24年3月28日
62期	濱吉 正章	平成23年11月16日
	福島 正治	平成23年12月9日
	北山 武	平成23年12月18日
	藤井 京一	平成24年1月19日
	藤原 五雄	平成24年1月19日
	山本 次郎	平成24年2月29日
63期	河崎 令一郎	平成23年10月4日
	國米 惇	平成24年1月31日
	増田 美智子	平成24年1月6日
	西村 文雄	平成24年2月15日
	増田 貞圓	平成24年2月21日
	松本 敬	平成24年4月12日
64期	土岐 好子	平成24年2月4日
	土井 陽子	平成24年2月5日
65期	寺田 政宏	平成24年1月27日
	川村 次郎	平成24年4月7日
66期	井関 睦子	平成24年2月23日
67期	辰巳 恵以子	平成24年2月23日
	萩原 章子	平成24年3月18日
	河本 健	平成24年5月13日
68期	寺戸 照雄	平成24年5月31日
69期	小林 力三	平成24年5月21日
70期	盛田 正治	平成24年1月20日
71期	奥永 進一	平成23年10月18日
	磯上 豊直	平成24年3月23日
72期	有光 友學	平成24年4月14日
93期	百道 雅美	平成23年12月22日

お詫び

会報58号のお悔やみ欄に、67期土井賢一様のお名前をご存命にもかかわらず、誤った情報をもとに掲載してしまい、ご迷惑をお掛けしました。謹んでお詫び申し上げます。

六稜文庫 6月末までのご寄贈受付分

<http://rikuryo.or.jp/books/>

「句集 象の骨」

横山民子 (66期)

「トマス・ハーディ全集13『日陰者ジュード』」

藤田繁 (68期)

「イギリス文学のランドマーク『大榎茂行教授喜寿記念論文集』」

藤田繁 (68期)

「シャスール鍋ひとつで野菜たっぷり最愛レシピ」

若林三弥子 (88期)

「英語の構造と背景」

大槻博 (73期)

「英語の語彙に与えた外国語の影響」

大槻博 (73期)

「龍の100の物語 あなたは龍を見たか」

福井栄一 (97期)

「論語かるた」

久井勲 (編集) (83期)

「森 琴石 作品集」

熊田司、橋爪節也 (編集)

森隆太 (編集協力) (75期)

「命の籠・拾遺II」

中 正敏 (46期)

「Kiyoshi Sey Takeyama + AMORPHE」

竹山 聖 (85期)

「マンガラ国家から国民国家へ
東南アジア史のなかの第一次世界大戦」

早瀬晋三 (86期)

「放射線を超えて Getting beyond radiation」

奥 真也 (93期)

六稜文庫運営規定

平成24年2月18日

第1条 (定義)

六稜文庫とは六稜同窓会会員および特別会員から寄贈を受けた著作物を受入れ・保管・貸出しする施設を云う。

第2条 (著作物の規定)

六稜文庫に受け入れる著作物は下記の通りとする。

1. 市販されている著作物で著作者、編者、翻訳者、写真撮影者等が六稜同窓会会員又は特別会員であること。
2. 同期会の公式著作物
3. 文化部及び運動部のOB会・OG会関係の著作物

第3条 (六稜文庫の運営)

六稜文庫の運営は細則に基づいて六稜同窓会事務局が行う。

第4条 (六稜文庫の利用資格)

六稜文庫の利用資格者は六稜同窓会会員、特別会員、生徒とする。

第5条 (細則の制定)

この規定施行の際に必要な事項は、細則を以って別に定める。

付記

1. この規定は平成24年2月18日より施行する。
2. 本規定の改廃は、六稜同窓会理事会の承認を必要とする。

六稜同窓会 139周年総会

開催のご案内

日時：2012年10月28日(日)13時から

場所：北野高校 多目的ホール・六稜会館

総会

多目的ホール

12:00 受付開始

12:45 在校生オーケストラ部の演奏

13:00 総会

活動報告

卓話：小霜 和也さん(93期)



Kazuya Kosimo

【こしも・かずや】北野高校93期。広告クリエイティブディレクター/コピーライター。東京大学法学部を卒業後、(株)博報堂を経て1998年に独立、現在 no problem LLC. 代表、Help Button LLC. 代表。手がけた代表的な広告キャンペーンに、PlayStation、キリン一番搾りなど。2012年6月時点での担当キャンペーンはNTT西日本フレッツ光、ReebokZIG-TECH、クリナップ、武田薬品アリナミンゼロ7、キリン本搾り、など。広告賞受賞多数。著作に「欲しいほしいホシイ」(インプレス)。

(終了予定) 14:45

「あなたを無意識に動かすもの」

広告クリエイティブの仕事に携わって、今年で27年。過去数百本のTVCMを企画制作してきました。その中には皆さんが「あれ観たことある」というものも多く含まれていると思います。広告の仕事をしながらか、次第に「人間の本质」に興味を抱くようになりました。広告は、とりわけTVCMなどのマス広告は、人の無意識に忍び込んで影響を与えるものだからです。人は何をより認識し、記憶し、何に動かされるのか。興味を持って調べ進むうちに進化論にまで行き着いてしまいました。人を無意識に動かしている原動力は進化の過程で養われた本能によるものかわかってきました。このテーマで本も書きました。

なぜと思ったことはないですか。なぜ多くの人が悪徳業者に騙されてしまうのか。なぜポスターでは意味もなく美人が笑っているのか。なぜCMはタレントだらけなのか。少し広告から離れて、なぜ人は自殺するのか、なぜ現代社会はストレスに満ちているのか。宇宙と人の心こそは人類がいまだ征服できない領域です。しかし、そこにひとつの仮説を呈示することはできるようになって来ました。その話をしてみたいと思います。自分の本質についての仮説を持っておくことこそが、自信を持って人生を進むための道標になると思うからです。

懇親会及び124期歓迎会

六稜会館 3Fホール

15:00 参加費 5,000円(但し事前払込は4,500円)

68期(S31卒)以前と、124期(H24卒)の方は、参加費無料です。

(終了予定) 16:30 幹事期：93期

【お願い】ご出席の方は、同封の返信はがきをお送りください。

六稜会館 1Fサロン

11:00~17:00 文化勲章受章5人展開催

地下展示室もオープンしています。

六稜会報
No.59

発行日 2012年9月1日
発行責任者 山本雅弘(71期)
編集 六稜同窓会
広報委員会
広報委員長 千種康一(88期)

発行 六稜同窓会 <http://www.rikuryo.or.jp/>
〒532-0025大阪府淀川区新北野2-5-13府立北野高校内
tel.06-6306-0374 fax.06-6306-1335
email.office@rikuryo.or.jp

事務局 平日 10:00~17:00(土・日・祝日は休み)

印刷 遊文舎

〒532-0012大阪府淀川区木川東4丁目17-31
tel.06-6304-9325 fax.06-6304-4995